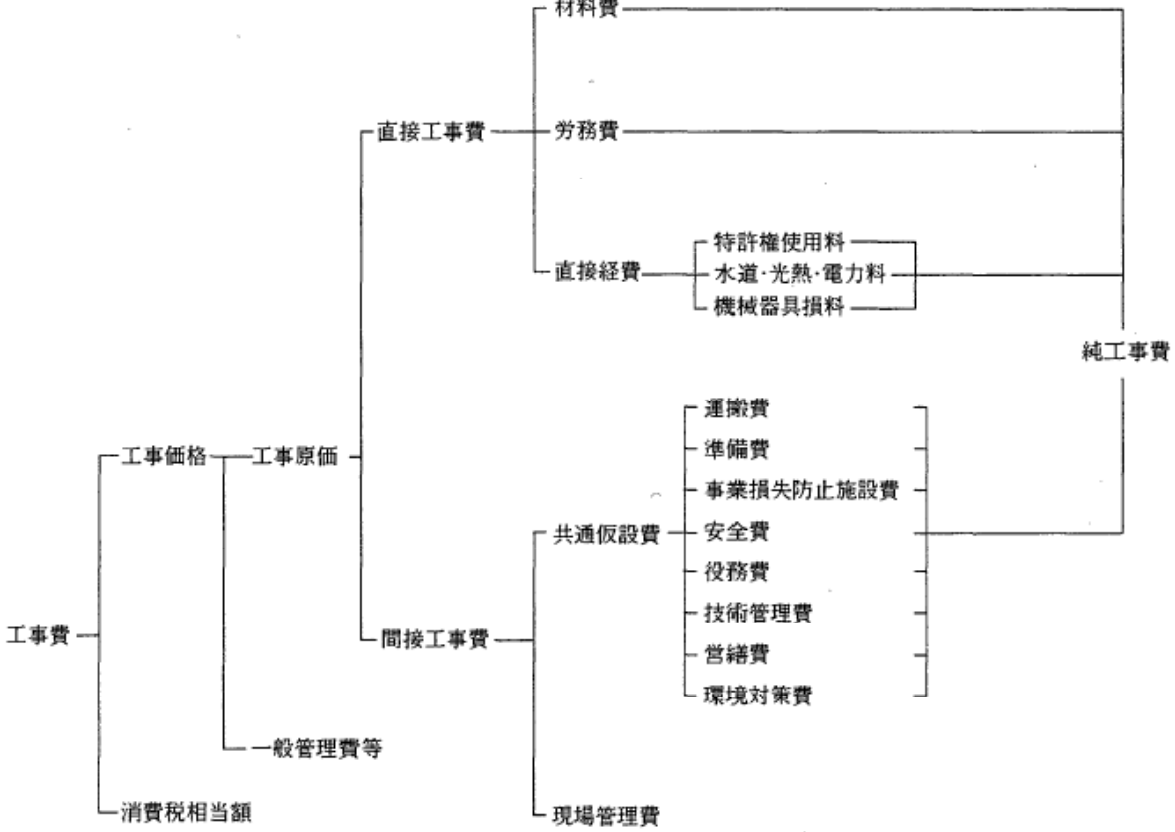
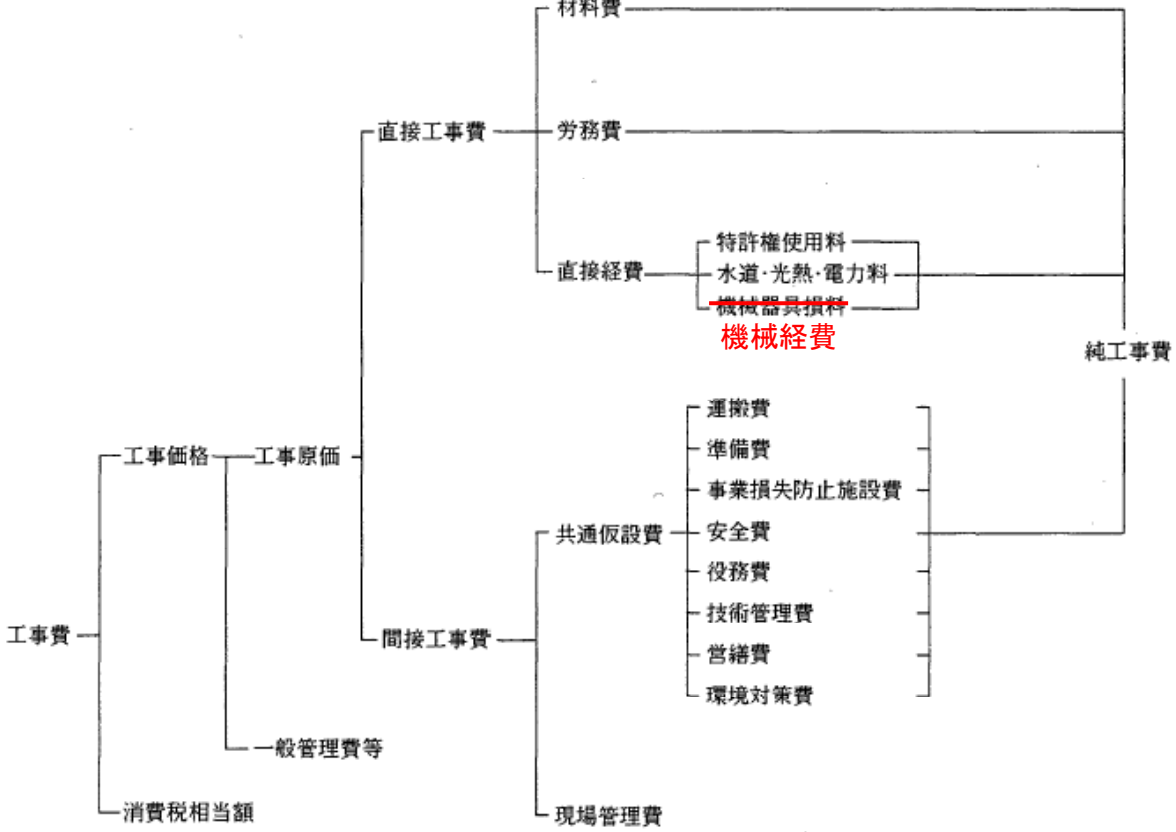


平成23年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成22年度）	改訂（平成23年度）
改訂 (P1)	1-1-2 請負工事費の構成  1-1-3 請負工事費の費目 ① 直接工事費 直接工事費とは、工事目的物を作るために直接必要とされる費用で、各工事部門ごとに工種、種別、細目等に区分し、それぞれの区分ごとに材料費、労務費、および直接経費の三要素について積算する。 1) 材料費 「主要資材単価」については、水道事業者等において、諸種の物価版、二者以上の見積書、他の類似公共事業の実例等の単価を参考とし、事業実施の時期、地域の特殊性等を勘案して適正な単価を決定して使用することとする。なお、規格品を購入する場合には規格検査費用が含まれているかを明確にしておくこと。 2) 労務単価 労務単価については、農林水産省、国土交通省により決定された平成21年度公共工事設計労務単価表を原則とする。 これら以外の労務単価による場合は、その理由と根拠等説明資料を添えて明確にすること。	1-1-2 請負工事費の構成  1-1-3 請負工事費の費目 ① 直接工事費 直接工事費とは、工事目的物を作るために直接必要とされる費用で、各工事部門ごとに工種、種別、細目等に区分し、それぞれの区分ごとに材料費、労務費、および直接経費の三要素について積算する。 1) 材料費 「主要資材単価」については、水道事業者等において、諸種の物価版、二者以上の見積書、他の類似公共事業の実例等の単価を参考とし、事業実施の時期、地域の特殊性等を勘案して適正な単価を決定して使用することとする。なお、規格品を購入する場合には規格検査費用が含まれているかを明確にしておくこと。 2) 労務単価 労務単価については、農林水産省、国土交通省により決定された平成21年度当該年度公共工事設計労務単価表を原則とする。 これら以外の労務単価による場合は、その理由と根拠等説明資料を添えて明確にすること。

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																
改 訂 （P 4）	表－ 1 工種区分 <table><tr><th>工種区分</th><th>工種内容</th></tr><tr><td>開削工事及び小口径推進工事</td><td>水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事</td></tr><tr><td>シールド工事及び推進工事</td><td>水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事施工方法がシールド工法又は作業員が坑内で作業する推進工法による管渠工事</td></tr><tr><td>構造物工事（浄水場等）</td><td>水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事浄水場等を構築する構造物工事</td></tr></table>	工種区分	工種内容	開削工事及び小口径推進工事	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事	シールド工事及び推進工事	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事施工方法がシールド工法又は作業員が坑内で作業する推進工法による管渠工事	構造物工事（浄水場等）	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事浄水場等を構築する構造物工事	表－ 1 工種区分 <table><tr><th>工種区分</th><th>工事内容</th></tr><tr><td>開削工事及び小口径推進工事</td><td>水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事</td></tr><tr><td>シールド工事及び推進工事</td><td>水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が坑内で作業する推進工法による管渠工事</td></tr><tr><td>構造物工事（浄水場等）</td><td>水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 浄水場等を構築する構造物工事</td></tr></table>	工種区分	工事内容	開削工事及び小口径推進工事	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事	シールド工事及び推進工事	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が坑内で作業する推進工法による管渠工事	構造物工事（浄水場等）	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 浄水場等を構築する構造物工事
工種区分	工種内容																	
開削工事及び小口径推進工事	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事																	
シールド工事及び推進工事	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事施工方法がシールド工法又は作業員が坑内で作業する推進工法による管渠工事																	
構造物工事（浄水場等）	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事浄水場等を構築する構造物工事																	
工種区分	工事内容																	
開削工事及び小口径推進工事	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事																	
シールド工事及び推進工事	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が坑内で作業する推進工法による管渠工事																	
構造物工事（浄水場等）	水道施設整備に関する工事にあつて、次に掲げる工事 浄水場等を構築する構造物工事																	

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）
改 訂 （P 5）	2－2 運搬費 (1) 運搬費の積算 運搬費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 建設機械器具の運搬等に要する費用 (イ) 質量20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 (ロ) 仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の運搬 (ハ) 重建設機械の分解、組立及び輸送に要する費用 (ニ) 質量20 t 未満の建設機械及び器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬 ただし、支給品及び現場発生品については、20 t 未満であっても積上げ積算し、直接工事費に計上するものとする。 (ホ) 建設機械の自走による運搬 (ヘ) 建設機械等の日々回送に要する費用 (ト) 質量20 t 以上の建設機械の現場内小運搬 2) 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬（直接工事費に計上） 3) 1) ～2) に掲げるもののほか、工事施行上必要な建設機械器具の運搬等に要する費用 4) 建設機械等の運搬基地 運搬基地は、建設機械等の所在場所等を勘案のうえ決定するものとする。 (2) 積算方法 1) 共通仮設費に計上される運搬費 (イ) 共通仮設費率に含まれる運搬費 a. 質量20 t 未満の建設機械、及び器材等（型枠材、支保材、足場材、敷鉄板、橋梁ベント、橋梁架設用タワー、橋梁用架設桁設備、排砂管、トレミー管、トンネル用スライディングセントル等）の搬入、搬出並びに現場内小運搬 b. 建設機械の自走による運搬（トラッククレーンラチスジブ型25t吊及び油圧伸縮ジブ型80t以上は、積み上げるものとする。） c. 建設機械等の日々回送（分解・組立・輸送）に要する費用 d. 質量20t以上の建設機械の現場内小運搬 ただし、特殊な現場条件等により分解・組立を必要とする場合は別途加算できるものとする。 e. 上記（1）、1）、（ハ）の中で、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型20～50 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型20～51 t 吊）の分解、組立及び輸送に要する費用	2－2 運搬費 (1) 運搬費の積算 運搬費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 建設機械器具の運搬等に要する費用 (イ) 質量 2 0 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 (ロ) 仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬 ただし、敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。 (ハ) 重建設機械の分解、組立及び輸送に要する費用 （以下、省略） （2）積算方法 1) 共通仮設費に計上される運搬費 (イ) 共通仮設費率に含まれる運搬費 a. 質量 2 0 t 未満の建設機械、及び器材等（型枠材、支保材、足場材、敷鉄板（敷鉄板設置撤去工で積上げた分は除く）、橋梁架設用タワー、橋梁用架設桁設備、排砂管、トレミー管、トンネル用スライディングセントル等）の搬入、搬出並びに現場内小運搬 b. 建設機械の自走による運搬（トラッククレーンラチスジブ型 2 5 t 吊及び油圧伸縮ジブ型 8 0 t 以上は、積み上げるものとする。） （以下、省略）

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）
改 訂 （P 6）	（ロ）積上げ項目による運搬費 a. 質量20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 b. 仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の運搬 c. 重建設機械の分解、組立及び輸送に要する費用 ただし、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型20～50 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型20～51 t 吊）は除く。 d. 賃料適用のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型80 t 吊以上）及びクローラクレーン（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型35 t 吊以上）の分解組立時にかかる本体賃料及び運搬中の本体賃料 2) 直接工事費に計上される運搬費 a. 鋼桁、門扉、工場製作品の運搬 b. 支給品及び現場発生品の運搬	（ロ）積上げ項目による運搬費 a. 質量 2 0 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 b. 仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬 ただし、敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。 c. 重建設機械の分解、組立及び輸送に要する費用 ただし、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 2 0 ～ 5 0 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 2 0 ～ 5 1 t 吊）は除く。 d. 賃料適用のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 8 0 t 吊以上）及びクローラクレーン（油圧駆動敷ウインチ・ラチスジブ型 3 5 t 吊以上）の分解組立時にかかる本体賃料及び運搬中の本体賃料 e. 敷鉄板設置撤去工で積上げ分の敷鉄板の搬入・搬出並びに現場内小運搬 2) 直接工事費に計上される運搬費 （以下、省略）

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																																																																																																																																																																																																																																																
改 訂 （P 8）	（4）仮設材（鋼矢板、E形鋼、覆工板等）の運搬 1）仮設材（鋼矢板、E形鋼、覆工板等）の運搬費用 仮設材の運搬は次式により行うものとする。 $U=[E \cdot (1+F1+F2)] \cdot G+H$ ただし U：仮設材の運搬費 E：基本運賃（円/ t） 下表によるものとする。 なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。 また、運賃は下表に掲げてある基本運賃に、必要に応じ冬期割増及び深夜・早朝割増を行うものとし、車両留置料、長大品割増、休日割増、特別割引は適用しない。 基本運賃表 <table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="4">（単位：円/ t）</th></tr><tr><th>距 離</th><th>製品長</th><th>12m以内</th><th>12m超～15m以内</th><th colspan="2">15m超</th></tr><tr><td>10kmまで</td><td></td><td>2,400 (2,070)</td><td>2,540 (2,540)</td><td>2,970</td><td>(2,950)</td></tr><tr><td>20 〃</td><td></td><td>2,500 (2,200)</td><td>2,750 (2,700)</td><td>3,250</td><td>(3,220)</td></tr><tr><td>30 〃</td><td></td><td>2,700 (2,450)</td><td>2,750 (2,700)</td><td>3,500</td><td>(3,460)</td></tr><tr><td>40 〃</td><td></td><td>2,850 (2,690)</td><td>3,000 (2,940)</td><td>3,670</td><td>(3,670)</td></tr><tr><td>50 〃</td><td></td><td>3,100 (2,940)</td><td>3,300 (3,220)</td><td>3,950</td><td>(3,920)</td></tr><tr><td>60 〃</td><td></td><td>3,270 (3,150)</td><td>3,750 (3,550)</td><td>4,150</td><td>(4,150)</td></tr><tr><td>70 〃</td><td></td><td>3,590 (3,380)</td><td>3,970 (3,820)</td><td>4,380</td><td>(4,380)</td></tr><tr><td>80 〃</td><td></td><td>3,780 (3,610)</td><td>4,210 (4,150)</td><td>4,610</td><td>(4,610)</td></tr><tr><td>90 〃</td><td></td><td>3,920 (3,830)</td><td>4,390 (4,390)</td><td>4,840</td><td>(4,840)</td></tr><tr><td>100 〃</td><td></td><td>4,090 (4,060)</td><td>4,640 (4,540)</td><td>5,050</td><td>(5,050)</td></tr><tr><td>110 〃</td><td></td><td>4,290 (4,250)</td><td>4,750 (4,670)</td><td>5,260</td><td>(5,260)</td></tr><tr><td>120 〃</td><td></td><td>4,490 (4,270)</td><td>4,940 (4,820)</td><td>5,470</td><td>(5,460)</td></tr><tr><td>130 〃</td><td></td><td>4,680 (4,550)</td><td>5,110 (4,960)</td><td>5,660</td><td>(5,630)</td></tr><tr><td>140 〃</td><td></td><td>4,870 (4,550)</td><td>5,290 (5,120)</td><td>5,820</td><td>(5,820)</td></tr><tr><td>150 〃</td><td></td><td>5,070 (4,830)</td><td>5,550 (5,330)</td><td>6,030</td><td>(6,030)</td></tr><tr><td>160 〃</td><td></td><td>5,350 (4,830)</td><td>5,800 (5,500)</td><td>6,210</td><td>(6,210)</td></tr><tr><td>170 〃</td><td></td><td>5,470 (5,110)</td><td>5,970 (5,650)</td><td>6,390</td><td>(6,390)</td></tr><tr><td>180 〃</td><td></td><td>5,590 (5,200)</td><td>6,020 (5,860)</td><td>6,560</td><td>(6,560)</td></tr><tr><td>190 〃</td><td></td><td>5,760 (5,400)</td><td>6,040 (6,050)</td><td>6,760</td><td>(6,740)</td></tr><tr><td>200 〃</td><td></td><td>5,980 (5,600)</td><td>6,230 (6,270)</td><td>6,940</td><td>(6,910)</td></tr><tr><td colspan="2">200kmを超え500kmまで 20kmまでを増すごとに</td><td>275 (280)</td><td>300 (350)</td><td>350</td><td>(400)</td></tr><tr><td colspan="2">500kmを超え50kmまでを 増すごとに</td><td>573 (600)</td><td>600 (700)</td><td>800</td><td>(826)</td></tr></table> （注）北海道・東北・北陸・中国・四国・九州の6 地方整備局は（ ）内の運賃を適用する。 発地・着地で地方整備局が異なる場合は、発注機関の存在する整備局を適用する。			（単位：円/ t）				距 離	製品長	12m以内	12m超～15m以内	15m超		10kmまで		2,400 (2,070)	2,540 (2,540)	2,970	(2,950)	20 〃		2,500 (2,200)	2,750 (2,700)	3,250	(3,220)	30 〃		2,700 (2,450)	2,750 (2,700)	3,500	(3,460)	40 〃		2,850 (2,690)	3,000 (2,940)	3,670	(3,670)	50 〃		3,100 (2,940)	3,300 (3,220)	3,950	(3,920)	60 〃		3,270 (3,150)	3,750 (3,550)	4,150	(4,150)	70 〃		3,590 (3,380)	3,970 (3,820)	4,380	(4,380)	80 〃		3,780 (3,610)	4,210 (4,150)	4,610	(4,610)	90 〃		3,920 (3,830)	4,390 (4,390)	4,840	(4,840)	100 〃		4,090 (4,060)	4,640 (4,540)	5,050	(5,050)	110 〃		4,290 (4,250)	4,750 (4,670)	5,260	(5,260)	120 〃		4,490 (4,270)	4,940 (4,820)	5,470	(5,460)	130 〃		4,680 (4,550)	5,110 (4,960)	5,660	(5,630)	140 〃		4,870 (4,550)	5,290 (5,120)	5,820	(5,820)	150 〃		5,070 (4,830)	5,550 (5,330)	6,030	(6,030)	160 〃		5,350 (4,830)	5,800 (5,500)	6,210	(6,210)	170 〃		5,470 (5,110)	5,970 (5,650)	6,390	(6,390)	180 〃		5,590 (5,200)	6,020 (5,860)	6,560	(6,560)	190 〃		5,760 (5,400)	6,040 (6,050)	6,760	(6,740)	200 〃		5,980 (5,600)	6,230 (6,270)	6,940	(6,910)	200kmを超え500kmまで 20kmまでを増すごとに		275 (280)	300 (350)	350	(400)	500kmを超え50kmまでを 増すごとに		573 (600)	600 (700)	800	(826)	（4）仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬 1）仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬費用 仮設材の運搬は次式により行うものとする。 （以下、省略） 基本運賃表 <table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="4">（単位：円/ t）</th></tr><tr><th>距 離</th><th>製品長</th><th>12m以内</th><th>12m超～15m以内</th><th colspan="2">15m超</th></tr><tr><td>10kmまで</td><td></td><td>2,400 (2,070)</td><td>2,540 (2,540)</td><td>2,970</td><td>(2,950)</td></tr><tr><td>20 〃</td><td></td><td>2,500 (2,200)</td><td>2,750 (2,700)</td><td>3,250</td><td>(3,220)</td></tr><tr><td>30 〃</td><td></td><td>2,700 (2,450)</td><td>2,750 (2,700)</td><td>3,500</td><td>(3,460)</td></tr><tr><td>40 〃</td><td></td><td>2,850 (2,690)</td><td>3,000 (2,940)</td><td>3,670</td><td>(3,670)</td></tr><tr><td>50 〃</td><td></td><td>3,100 (2,940)</td><td>3,300 (3,220)</td><td>3,950</td><td>(3,920)</td></tr><tr><td>60 〃</td><td></td><td>3,270 (3,150)</td><td>3,750 (3,550)</td><td>4,150</td><td>(4,150)</td></tr><tr><td>70 〃</td><td></td><td>3,590 (3,380)</td><td>3,970 (3,820)</td><td>4,380</td><td>(4,380)</td></tr><tr><td>80 〃</td><td></td><td>3,780 (3,610)</td><td>4,210 (4,150)</td><td>4,610</td><td>(4,610)</td></tr><tr><td>90 〃</td><td></td><td>3,920 (3,830)</td><td>4,390 (4,390)</td><td>4,840</td><td>(4,840)</td></tr><tr><td>100 〃</td><td></td><td>4,090 (4,060)</td><td>4,640 (4,540)</td><td>5,050</td><td>(5,050)</td></tr><tr><td>110 〃</td><td></td><td>4,290 (4,250)</td><td>4,760 (4,670)</td><td>5,260</td><td>(5,260)</td></tr><tr><td>120 〃</td><td></td><td>4,490 (4,270)</td><td>4,940 (4,820)</td><td>5,470</td><td>(5,460)</td></tr><tr><td>130 〃</td><td></td><td>4,680 (4,550)</td><td>5,110 (4,960)</td><td>5,660</td><td>(5,630)</td></tr><tr><td>140 〃</td><td></td><td>4,870 (4,550)</td><td>5,290 (5,120)</td><td>5,820</td><td>(5,820)</td></tr><tr><td>150 〃</td><td></td><td>5,070 (4,830)</td><td>5,550 (5,330)</td><td>6,030</td><td>(6,030)</td></tr><tr><td>160 〃</td><td></td><td>5,350 (4,830)</td><td>5,800 (5,500)</td><td>6,210</td><td>(6,210)</td></tr><tr><td>170 〃</td><td></td><td>5,470 (5,110)</td><td>5,970 (5,650)</td><td>6,390</td><td>(6,390)</td></tr><tr><td>180 〃</td><td></td><td>5,590 (5,200)</td><td>6,020 (5,860)</td><td>6,560</td><td>(6,560)</td></tr><tr><td>190 〃</td><td></td><td>5,760 (5,400)</td><td>6,040 (6,050)</td><td>6,760</td><td>(6,740)</td></tr><tr><td>200 〃</td><td></td><td>5,980 (5,600)</td><td>6,230 (6,270)</td><td>6,940</td><td>(6,910)</td></tr><tr><td colspan="2">200kmを超え500kmまで 20kmまでを増すごとに</td><td>275 (280)</td><td>300 (350)</td><td>350</td><td>(400)</td></tr><tr><td colspan="2">500kmを超え50kmまでを 増すごとに</td><td>573 (600)</td><td>600 (700)</td><td>800</td><td>(826)</td></tr></table> （注）1. 北海道・東北・北陸・中国・四国・九州の6 地方整備局は（ ）の運賃を適用する。 発地・着地で地方整備局が異なる場合は、発注機関の存在する整備局を適用する。 2. 敷鉄板は、敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。			（単位：円/ t）				距 離	製品長	12m以内	12m超～15m以内	15m超		10kmまで		2,400 (2,070)	2,540 (2,540)	2,970	(2,950)	20 〃		2,500 (2,200)	2,750 (2,700)	3,250	(3,220)	30 〃		2,700 (2,450)	2,750 (2,700)	3,500	(3,460)	40 〃		2,850 (2,690)	3,000 (2,940)	3,670	(3,670)	50 〃		3,100 (2,940)	3,300 (3,220)	3,950	(3,920)	60 〃		3,270 (3,150)	3,750 (3,550)	4,150	(4,150)	70 〃		3,590 (3,380)	3,970 (3,820)	4,380	(4,380)	80 〃		3,780 (3,610)	4,210 (4,150)	4,610	(4,610)	90 〃		3,920 (3,830)	4,390 (4,390)	4,840	(4,840)	100 〃		4,090 (4,060)	4,640 (4,540)	5,050	(5,050)	110 〃		4,290 (4,250)	4,760 (4,670)	5,260	(5,260)	120 〃		4,490 (4,270)	4,940 (4,820)	5,470	(5,460)	130 〃		4,680 (4,550)	5,110 (4,960)	5,660	(5,630)	140 〃		4,870 (4,550)	5,290 (5,120)	5,820	(5,820)	150 〃		5,070 (4,830)	5,550 (5,330)	6,030	(6,030)	160 〃		5,350 (4,830)	5,800 (5,500)	6,210	(6,210)	170 〃		5,470 (5,110)	5,970 (5,650)	6,390	(6,390)	180 〃		5,590 (5,200)	6,020 (5,860)	6,560	(6,560)	190 〃		5,760 (5,400)	6,040 (6,050)	6,760	(6,740)	200 〃		5,980 (5,600)	6,230 (6,270)	6,940	(6,910)	200kmを超え500kmまで 20kmまでを増すごとに		275 (280)	300 (350)	350	(400)	500kmを超え50kmまでを 増すごとに		573 (600)	600 (700)	800	(826)
		（単位：円/ t）																																																																																																																																																																																																																																																																																																
距 離	製品長	12m以内	12m超～15m以内	15m超																																																																																																																																																																																																																																																																																														
10kmまで		2,400 (2,070)	2,540 (2,540)	2,970	(2,950)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
20 〃		2,500 (2,200)	2,750 (2,700)	3,250	(3,220)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
30 〃		2,700 (2,450)	2,750 (2,700)	3,500	(3,460)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
40 〃		2,850 (2,690)	3,000 (2,940)	3,670	(3,670)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
50 〃		3,100 (2,940)	3,300 (3,220)	3,950	(3,920)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
60 〃		3,270 (3,150)	3,750 (3,550)	4,150	(4,150)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
70 〃		3,590 (3,380)	3,970 (3,820)	4,380	(4,380)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
80 〃		3,780 (3,610)	4,210 (4,150)	4,610	(4,610)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
90 〃		3,920 (3,830)	4,390 (4,390)	4,840	(4,840)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
100 〃		4,090 (4,060)	4,640 (4,540)	5,050	(5,050)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
110 〃		4,290 (4,250)	4,750 (4,670)	5,260	(5,260)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
120 〃		4,490 (4,270)	4,940 (4,820)	5,470	(5,460)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
130 〃		4,680 (4,550)	5,110 (4,960)	5,660	(5,630)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
140 〃		4,870 (4,550)	5,290 (5,120)	5,820	(5,820)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
150 〃		5,070 (4,830)	5,550 (5,330)	6,030	(6,030)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
160 〃		5,350 (4,830)	5,800 (5,500)	6,210	(6,210)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
170 〃		5,470 (5,110)	5,970 (5,650)	6,390	(6,390)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
180 〃		5,590 (5,200)	6,020 (5,860)	6,560	(6,560)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
190 〃		5,760 (5,400)	6,040 (6,050)	6,760	(6,740)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
200 〃		5,980 (5,600)	6,230 (6,270)	6,940	(6,910)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
200kmを超え500kmまで 20kmまでを増すごとに		275 (280)	300 (350)	350	(400)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
500kmを超え50kmまでを 増すごとに		573 (600)	600 (700)	800	(826)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		（単位：円/ t）																																																																																																																																																																																																																																																																																																
距 離	製品長	12m以内	12m超～15m以内	15m超																																																																																																																																																																																																																																																																																														
10kmまで		2,400 (2,070)	2,540 (2,540)	2,970	(2,950)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
20 〃		2,500 (2,200)	2,750 (2,700)	3,250	(3,220)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
30 〃		2,700 (2,450)	2,750 (2,700)	3,500	(3,460)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
40 〃		2,850 (2,690)	3,000 (2,940)	3,670	(3,670)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
50 〃		3,100 (2,940)	3,300 (3,220)	3,950	(3,920)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
60 〃		3,270 (3,150)	3,750 (3,550)	4,150	(4,150)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
70 〃		3,590 (3,380)	3,970 (3,820)	4,380	(4,380)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
80 〃		3,780 (3,610)	4,210 (4,150)	4,610	(4,610)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
90 〃		3,920 (3,830)	4,390 (4,390)	4,840	(4,840)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
100 〃		4,090 (4,060)	4,640 (4,540)	5,050	(5,050)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
110 〃		4,290 (4,250)	4,760 (4,670)	5,260	(5,260)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
120 〃		4,490 (4,270)	4,940 (4,820)	5,470	(5,460)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
130 〃		4,680 (4,550)	5,110 (4,960)	5,660	(5,630)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
140 〃		4,870 (4,550)	5,290 (5,120)	5,820	(5,820)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
150 〃		5,070 (4,830)	5,550 (5,330)	6,030	(6,030)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
160 〃		5,350 (4,830)	5,800 (5,500)	6,210	(6,210)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
170 〃		5,470 (5,110)	5,970 (5,650)	6,390	(6,390)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
180 〃		5,590 (5,200)	6,020 (5,860)	6,560	(6,560)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
190 〃		5,760 (5,400)	6,040 (6,050)	6,760	(6,740)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
200 〃		5,980 (5,600)	6,230 (6,270)	6,940	(6,910)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
200kmを超え500kmまで 20kmまでを増すごとに		275 (280)	300 (350)	350	(400)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
500kmを超え50kmまでを 増すごとに		573 (600)	600 (700)	800	(826)																																																																																																																																																																																																																																																																																													

平成23年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ

改訂

(P 9)

現行（平成 2 2 年度）

F1～F2：運賃割増率
F1：冬期割増

地 域	期 間	割増率
北海道	自11月16日 至 4月15日	2割
青森県、秋田県、山形県、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、 鳥取県、島根県の全域	自12月1日 至 3月31日	
岩手県のうち北上市、久慈市、遠野市、二戸市、九戸郡、二戸郡、上 閉伊郡、下閉伊郡、岩手郡、和賀郡、福島県のうち会津若松市、喜多 方市、南会津郡、北会津郡、耶麻郡、大沼郡、河沼郡、岐阜県のうち 高山市、大野郡、吉城郡、益田郡、郡上市		

F2：深夜・早朝割増

午後10時から午前5時まで	3割
---------------	----

G：運搬質量（t）
H：その他の諸料金（円）

その他、下記事項の料金を必要により計上する。

a. 有料道路使用料
b. 自動車航送船利用料
c. その他

*端数の処理

運賃及び料金は当該輸送トン数ごとに計算し、当該運賃又は料金の円未満の金額については切り捨てる。

2) 仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の積込み、取卸しに要する費用

仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の積込み・取卸し費

場 所	作 業	費 用（円/t）		
基 地	積 込 み	750	1,500	3,000
現 場	取 卸 し	750		
	積 込 み	750	1,500	
基 地	取 卸 し	750		

(注) 橋梁ベント、橋梁架設用タワーは率に含まれるため適用しない。

改訂（平成 2 3 年度）

F1～F2：運賃割増率
F1：冬期割増

地 域	期 間	割増率
北海道	自11月16日 至 4月15日	2割
青森県、秋田県、山形県、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、 鳥取県、島根県の全域	自12月1日 至 3月31日	
岩手県のうち北上市、久慈市、遠野市、二戸市、九戸郡、二戸郡、上 閉伊郡、下閉伊郡、岩手郡、和賀郡、福島県のうち会津若松市、喜多 方市、南会津郡、 北会津郡 、耶麻郡、大沼郡、河沼郡、岐阜県のうち 高山市、大野郡、 吉城郡 、 益田郡 、 郡上市 飛騨市 下呂市 郡上市		

F2：深夜・早朝割増

午後10時から午前5時まで	3割
---------------	----

G：運搬質量（t）
H：その他の諸料金（円）

その他、下記事項の料金を必要により計上する。

a. 有料道路使用料
b. 自動車航送船利用料
c. その他

*端数の処理

運賃及び料金は当該輸送トン数ごとに計算し、当該運賃又は料金の円未満の金額については切り捨てる。

2) 仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の積込み、取卸しに要する費用

仮設材（鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の積込み・取卸し費

場 所	作 業	費 用（円/t）		
基 地	積 込 み	750	1,500	3,000
現 場	取 卸 し	750		
	積 込 み	750	1,500	
基 地	取 卸 し	750		

(注) 1. 橋梁ベント、橋梁架設用タワーは率に含まれるため適用しない。
2. 敷鉄板は、敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。

北会津郡は会津若松市に、吉城郡は飛騨市に、
益田郡は下呂市、郡上市は郡上市に合併等により変更

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）
改 訂 （P 1 3）	2－3 準備費 （1）準備費の積算 準備費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 準備及び後片付けに要する費用 イ. 着手時の準備費用 ロ. 施工期間中における準備、後片付け費用 ハ. 完成時の後片付け費用 2) 調査・測量、丁張等に要する費用 イ. 工事着手前の基準測量等の費用 ロ. 縦、横断面図の照査等の費用 ハ. の仮移設等の費用 ニ. 丁張り設置等の費用	2－3 準備費 （1）準備費の積算 準備費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 準備及び後片付けに要する費用 イ. 着手時の準備費用 ロ. 施工期間中における準備、後片付け費用 ハ. 完成時の後片付け費用 2) 調査・測量、丁張等に要する費用 イ. 工事着手前の基準測量等の費用 ロ. 縦、横断面図の照査等の費用 ハ. 用地幅杭等の仮移設等の費用 ニ. 丁張り設置等の費用

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）
改 訂 (P 1 6)	2－8 営繕費 (1) 営繕費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 現場事務所、試験室等の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用 2) 労働者宿舍の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用 3) 倉庫及び材料保管場の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用 4) 労働者の輸送に要する費用 5) 上記1)、2)、3) に係る土地・建物の借上げに要する費用 6) 監督員詰所及び火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用 7) 1) ～6) に掲げるもののほか工事施工上必要な営繕等に要する費用 (2) 積算方法 営繕費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記 (1) の1)、2)、3)、4)、5) 及び6) の内以下の項目とする。 上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。 1) 監督員詰所及び火薬庫等の営繕に要する費用 監督員詰所及び火薬庫等の設置は工事期間、工事場所、施工時期、工事規模、監督体制等を考慮して必要な費用を積上げるものとする。 イ. 監督員詰所 ・設置撤去する場合 $E_k=A(500 \cdot M+14,150)+t \cdot M$ ・設置のみの場合 $E_k=A(500 \cdot M+10,600)+t \cdot M$ ・撤去のみの場合 $E_k=A(500 \cdot M+3,550)+t \cdot M$ ・損料のみの場合 $E_k=A(500 \cdot M)+t \cdot M$ ただし、E_k:監督員詰所に係る営繕費 (E_kには、建物の設置・撤去・損料に要する費用、電気・水道・ガス設備の設置・撤去に要する費用、下記tの費用が含まれる。) A:建物面積 (㎡) (建物面積は人員2名までは25㎡を標準とする。ただし、現場条件及び夜間作業を伴い宿泊施設を要する場合等により、詰所の規模は別途考慮することができる。) M:月数(必要日数を30日で除し、小数第2位を四捨五入し、小数1位止めとする。) t:次の項目に要する費用 a. 備品(机、いす、黒板、温度計、書箱、時計、エアコン、消火器、湯沸器、ロッカー、応接セット)に要する費用 - 備品は損料として13,800円/月を計上する。 b. その他、現場条件等により、積上げを要する費用。 (注) 1. 備品及び車庫を計上する場合は、特約事項又は特記仕様書に明示するものとする。 2. 上記のE_kについては、電気、水道、ガスに係る基本料及び使用料は含まれていない。 3. 電気、水道、ガスに係る既設の供給管(線)と監督員詰所が離れている場合は、別途考慮することができる。 4. 監督員詰所の設置にあたり土地等の借上げが必要な場合は、別途考慮することができる。	2－8 営繕費 (1) 営繕費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 現場事務所、試験室等の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用 2) 労働者宿舍の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用 3) 倉庫及び材料保管場の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用 4) 労働者の輸送に要する費用 5) 上記1)、2)、3) に係る土地・建物の借上げに要する費用 6) 監督員詰所及び火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用 7) 1) ～6) に掲げるもののほか工事施工上必要な営繕等に要する費用 (2) 積算方法 営繕費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記 (1) の1)、2)、3)、4)、5) 及び6) の内以下の項目とする。 ・コンクリートダム、フィルダム工事では、監督員詰所及び火薬庫等の設置・撤去、維持・補修に要する費用を含む。 上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。 1) 監督員詰所及び火薬庫等の営繕に要する費用 監督員詰所及び火薬庫等の設置は工事期間、工事場所、施工時期、工事規模、監督体制等を考慮して必要な費用を積上げるものとする。 イ. 監督員詰所 ・設置撤去する場合 $E_k=A(500 \cdot M+14,150)+t \cdot M$ ・設置のみの場合 $E_k=A(500 \cdot M+10,600)+t \cdot M$ ・撤去のみの場合 $E_k=A(500 \cdot M+3,550)+t \cdot M$ ・損料のみの場合 $E_k=A(500 \cdot M)+t \cdot M$ ただし、E_k:監督員詰所に係る営繕費 (E_kには、建物の設置・撤去・損料に要する費用、電気・水道・ガス設備の設置・撤去に要する費用、下記tの費用が含まれる。) A:建物面積 (㎡) (建物面積は人員2名までは25㎡を標準とする。ただし、現場条件及び夜間作業を伴い宿泊施設を要する場合等により、詰所の規模は別途考慮することができる。) M:月数(必要日数を30日で除し、小数第2位を四捨五入し、小数1位止めとする。) t:次の項目に要する費用 a. 備品(机、いす、黒板、温度計、書箱、時計、エアコン、消火器、湯沸器、ロッカー、応接セット)に要する費用 - 備品は損料として13,800円/月を計上する。 b. その他、現場条件等により、積上げを要する費用。 (注) 1. 備品及び車庫を計上する場合は、特約事項又は特記仕様書に明示するものとする。 2. 上記のE_kについては、電気、水道、ガスに係る基本料及び使用料は含まれていない。 3. 電気、水道、ガスに係る既設の供給管(線)と監督員詰所が離れている場合は、別途考慮することができる。 4. 監督員詰所の設置にあたり土地等の借上げが必要な場合は、別途考慮することができる。

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）
改 訂 (P.28)	第 2 章 開削工事歩掛 第 1 節 標準掘削断面 2－1－3 掘削幅の算定 (2) 接合時の掘削幅(計算に用いる各々の項目の標準寸法は別表による) ア ダクタイル鑄鉄管 a 外面継手(ボルト締付けタイプ A、K、KF、S、SⅡ、フランジ形) 接合掘削幅＝管外径(D2)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c)) b 外面継手(プッシュオンタイプ NS形) 接合掘削幅＝管外径(D2)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c)) c 外面継手(プッシュオンタイプ T形) 接合掘削幅＝管外径(D2)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c)) d 内面継手(U形管) 接合掘削幅＝管外径(D2)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c)) e 外面継手(セットボルト締め付け UF、US形) 接合掘削幅＝受口外径(D5)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c))	第 2 章 開削工事歩掛 第 1 節 標準掘削断面 2－1－3 掘削幅の算定 (2) 接合時の掘削幅(計算に用いる各々の項目の標準寸法は別表による) ア ダクタイル鑄鉄管 a 外面継手(ボルト締付けタイプ A、K、KF、S、SⅡ、GX形、フランジ形) 接合掘削幅＝管外径(D2)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c)) b 外面継手(プッシュオンタイプ NS、GX形) 接合掘削幅＝管外径(D2)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c)) c 外面継手(プッシュオンタイプ T形) 接合掘削幅＝管外径(D2)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c)) d 内面継手(U形管) 接合掘削幅＝管外径(D2)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c)) e 外面継手(セットボルト締め付け UF、US形) 接合掘削幅＝受口外径(D5)＋2×(接合作業幅(b3)＋矢板厚(c))

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																																																																																																							
改 訂 (P .30)	第 2 章 開削工事歩掛 第 1 節 標準掘削断面 2－1－3 掘削幅の算定 (3) 各項目の標準寸法 B3：接合作業幅 <table><tr><th>継ぎ手種別</th><th colspan="3">摘 要</th><th>標準接合</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th></th><th>口 径</th><th>ボルト径</th><th>トルク</th><th>作業幅</th></tr><tr><td rowspan="6">外面継ぎ手 (T頭ボルト締め付け)</td><td>～ 75</td><td>M16</td><td>6</td><td>150</td><td rowspan="6">レンチ長</td></tr><tr><td>100 ～ 250</td><td>M20</td><td>10</td><td>250</td></tr><tr><td>300 ～ 350</td><td>M20</td><td>10</td><td>250</td></tr><tr><td>400 ～ 600</td><td>M20</td><td>10</td><td>250</td></tr><tr><td>700 ～ 800</td><td>M24</td><td>14</td><td>350</td></tr><tr><td>900 ～</td><td>M30</td><td>20</td><td>450</td></tr><tr><td>外面継ぎ手</td><td colspan="3">プッシュオンタイプ(T継ぎ手管)</td><td>100</td><td>余裕幅</td></tr><tr><td>外面継ぎ手</td><td colspan="3">プッシュオンタイプ(NS 継ぎ手管)</td><td>250</td><td>レバーブロック</td></tr><tr><td>外面継ぎ手</td><td colspan="3">(U継ぎ手管)</td><td>100</td><td>余裕幅</td></tr><tr><td rowspan="2">内面継ぎ手</td><td>700 ～ 800</td><td rowspan="2">セットボルト締め付け (UF,US 継ぎ手管)</td><td>350</td><td rowspan="2">450</td><td rowspan="2">レンチ長</td></tr><tr><td>900 ～</td></tr><tr><td>ポリ管等</td><td colspan="3">ポリエチレン管・硬質塩化ビニル管</td><td>100</td><td>余裕幅</td></tr></table>	継ぎ手種別	摘 要			標準接合	備 考		口 径	ボルト径	トルク	作業幅	外面継ぎ手 (T頭ボルト締め付け)	～ 75	M16	6	150	レンチ長	100 ～ 250	M20	10	250	300 ～ 350	M20	10	250	400 ～ 600	M20	10	250	700 ～ 800	M24	14	350	900 ～	M30	20	450	外面継ぎ手	プッシュオンタイプ(T継ぎ手管)			100	余裕幅	外面継ぎ手	プッシュオンタイプ(NS 継ぎ手管)			250	レバーブロック	外面継ぎ手	(U継ぎ手管)			100	余裕幅	内面継ぎ手	700 ～ 800	セットボルト締め付け (UF,US 継ぎ手管)	350	450	レンチ長	900 ～	ポリ管等	ポリエチレン管・硬質塩化ビニル管			100	余裕幅	第 2 章 開削工事歩掛 第 1 節 標準掘削断面 2－1－3 掘削幅の算定 (3) 各項目の標準寸法 B3：接合作業幅 <table><tr><th>継ぎ手種別</th><th colspan="3">摘 要</th><th>標準接合</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th></th><th>口 径</th><th>ボルト径</th><th>トルク</th><th>作業幅</th></tr><tr><td rowspan="6">外面継ぎ手 (T頭ボルト締め付け)</td><td>～ 75</td><td>M16</td><td>6</td><td>150</td><td rowspan="6">レンチ長</td></tr><tr><td>100 ～ 250</td><td>M20</td><td>10</td><td>250</td></tr><tr><td>300 ～ 350</td><td>M20</td><td>10</td><td>250</td></tr><tr><td>400 ～ 600</td><td>M20</td><td>10</td><td>250</td></tr><tr><td>700 ～ 800</td><td>M24</td><td>14</td><td>350</td></tr><tr><td>900 ～</td><td>M30</td><td>20</td><td>450</td></tr><tr><td>外面継ぎ手</td><td colspan="3">プッシュオンタイプ(T形継ぎ手管)</td><td>100</td><td>余裕幅</td></tr><tr><td>外面継ぎ手</td><td colspan="3">プッシュオンタイプ(NS 形継ぎ手管)</td><td>250</td><td>レバーホイスト (両側 2 箇所)</td></tr><tr><td>外面継手</td><td colspan="3">プッシュオンタイプ(GX 形継手管)</td><td>150</td><td>レバーホイスト (アーム長) (上部 1 箇所)</td></tr><tr><td rowspan="2">外面継手(GX 形継手) (T頭ボルト締め付け)</td><td>～ 75</td><td>M16</td><td>－</td><td rowspan="2">150</td><td rowspan="2">ラチェットレンチ長</td></tr><tr><td>100 ～ 250</td><td>M20</td><td>－</td></tr><tr><td>外面継ぎ手</td><td colspan="3">(U形継ぎ手管)</td><td>100</td><td>余裕幅</td></tr><tr><td rowspan="2">内面継ぎ手</td><td>700 ～ 800</td><td rowspan="2">セットボルト締め付け (UF,US 形継ぎ手管)</td><td>350</td><td rowspan="2">450</td><td rowspan="2">レンチ長</td></tr><tr><td>900 ～</td></tr><tr><td>ポリ管等</td><td colspan="3">ポリエチレン管・硬質塩化ビニル管</td><td>100</td><td>余裕幅</td></tr></table>	継 ぎ 手種別	摘 要			標準接合	備 考		口 径	ボルト径	トルク	作業幅	外面継 ぎ 手 (T頭ボルト締め付け)	～ 75	M16	6	150	レンチ長	100 ～ 250	M20	10	250	300 ～ 350	M20	10	250	400 ～ 600	M20	10	250	700 ～ 800	M24	14	350	900 ～	M30	20	450	外面継 ぎ 手	プッシュオンタイプ(T 形 継 ぎ 手管)			100	余裕幅	外面継 ぎ 手	プッシュオンタイプ(NS 形 継 ぎ 手管)			250	レバーホイスト (両側 2 箇所)	外面継手	プッシュオンタイプ(GX 形継手管)			150	レバーホイスト (アーム長) (上部 1 箇所)	外面継手(GX 形継手) (T頭ボルト締め付け)	～ 75	M16	－	150	ラチェットレンチ長	100 ～ 250	M20	－	外面継 ぎ 手	(U形継 ぎ 手管)			100	余裕幅	内面継 ぎ 手	700 ～ 800	セットボルト締め付け (UF,US 形 継 ぎ 手管)	350	450	レンチ長	900 ～	ポリ管等	ポリエチレン管・硬質塩化ビニル管			100	余裕幅
継ぎ手種別	摘 要			標準接合	備 考																																																																																																																																																				
	口 径	ボルト径	トルク	作業幅																																																																																																																																																					
外面継ぎ手 (T頭ボルト締め付け)	～ 75	M16	6	150	レンチ長																																																																																																																																																				
	100 ～ 250	M20	10	250																																																																																																																																																					
	300 ～ 350	M20	10	250																																																																																																																																																					
	400 ～ 600	M20	10	250																																																																																																																																																					
	700 ～ 800	M24	14	350																																																																																																																																																					
	900 ～	M30	20	450																																																																																																																																																					
外面継ぎ手	プッシュオンタイプ(T継ぎ手管)			100	余裕幅																																																																																																																																																				
外面継ぎ手	プッシュオンタイプ(NS 継ぎ手管)			250	レバーブロック																																																																																																																																																				
外面継ぎ手	(U継ぎ手管)			100	余裕幅																																																																																																																																																				
内面継ぎ手	700 ～ 800	セットボルト締め付け (UF,US 継ぎ手管)	350	450	レンチ長																																																																																																																																																				
	900 ～																																																																																																																																																								
ポリ管等	ポリエチレン管・硬質塩化ビニル管			100	余裕幅																																																																																																																																																				
継 ぎ 手種別	摘 要			標準接合	備 考																																																																																																																																																				
	口 径	ボルト径	トルク	作業幅																																																																																																																																																					
外面継 ぎ 手 (T頭ボルト締め付け)	～ 75	M16	6	150	レンチ長																																																																																																																																																				
	100 ～ 250	M20	10	250																																																																																																																																																					
	300 ～ 350	M20	10	250																																																																																																																																																					
	400 ～ 600	M20	10	250																																																																																																																																																					
	700 ～ 800	M24	14	350																																																																																																																																																					
	900 ～	M30	20	450																																																																																																																																																					
外面継 ぎ 手	プッシュオンタイプ(T 形 継 ぎ 手管)			100	余裕幅																																																																																																																																																				
外面継 ぎ 手	プッシュオンタイプ(NS 形 継 ぎ 手管)			250	レバーホイスト (両側 2 箇所)																																																																																																																																																				
外面継手	プッシュオンタイプ(GX 形継手管)			150	レバーホイスト (アーム長) (上部 1 箇所)																																																																																																																																																				
外面継手(GX 形継手) (T頭ボルト締め付け)	～ 75	M16	－	150	ラチェットレンチ長																																																																																																																																																				
	100 ～ 250	M20	－																																																																																																																																																						
外面継 ぎ 手	(U形継 ぎ 手管)			100	余裕幅																																																																																																																																																				
内面継 ぎ 手	700 ～ 800	セットボルト締め付け (UF,US 形 継 ぎ 手管)	350	450	レンチ長																																																																																																																																																				
	900 ～																																																																																																																																																								
ポリ管等	ポリエチレン管・硬質塩化ビニル管			100	余裕幅																																																																																																																																																				

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																
新規 （P 4 2）	該当なし	2－3－8 GX 形継手接合歩掛表 第 7－1 表 (GX) (1 口当たり) <table><tr><th rowspan="2">呼び径 (mm)</th><th colspan="3">直 管</th><th colspan="3">異形管</th></tr><tr><th>配管工</th><th>普通作業員</th><th>雑材料</th><th>配管工</th><th>普通作業員</th><th>雑材料</th></tr><tr><td>75</td><td>0.05</td><td>0.05</td><td>1%</td><td>0.05</td><td>0.05</td><td>1%</td></tr><tr><td>100</td><td>0.05</td><td>0.05</td><td>1%</td><td>0.05</td><td>0.05</td><td>1%</td></tr><tr><td>150</td><td>0.05</td><td>0.05</td><td>1%</td><td>0.06</td><td>0.06</td><td>1%</td></tr><tr><td>200</td><td>0.06</td><td>0.06</td><td>1%</td><td>0.07</td><td>0.07</td><td>1%</td></tr><tr><td>250</td><td>0.07</td><td>0.07</td><td>1%</td><td>0.08</td><td>0.08</td><td>1%</td></tr></table> 備考 1 P-Link の接合は直管部の歩掛に 3 0 % を上限として割増する事ができる。 2 G-Link の接合は異形管部の歩掛に 3 0 % を上限として割増する事ができる。	呼び径 (mm)	直 管			異形管			配管工	普通作業員	雑材料	配管工	普通作業員	雑材料	75	0.05	0.05	1%	0.05	0.05	1%	100	0.05	0.05	1%	0.05	0.05	1%	150	0.05	0.05	1%	0.06	0.06	1%	200	0.06	0.06	1%	0.07	0.07	1%	250	0.07	0.07	1%	0.08	0.08	1%
呼び径 (mm)	直 管			異形管																																														
	配管工	普通作業員	雑材料	配管工	普通作業員	雑材料																																												
75	0.05	0.05	1%	0.05	0.05	1%																																												
100	0.05	0.05	1%	0.05	0.05	1%																																												
150	0.05	0.05	1%	0.06	0.06	1%																																												
200	0.06	0.06	1%	0.07	0.07	1%																																												
250	0.07	0.07	1%	0.08	0.08	1%																																												

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																		
新 規 （P 5 5）		内面：無溶剤型エポキシ樹脂塗装（0.5 mm塗） 第 10 表 <table><tr><th rowspan="5">呼 び 径 (mm)</th><th colspan="6">内 面 塗 装 費</th></tr><tr><th colspan="6">0.5mm</th></tr><tr><th colspan="3">管円周部（1 口当り）</th><th colspan="3">管軸方向部（1 m²当り）</th></tr><tr><th>労務費</th><th colspan="2">材料費</th><th>労務費</th><th colspan="2">材料費</th></tr><tr><th>塗装工 （人）</th><th>無溶剤型 エポキシ 樹脂（kg）</th><th>消耗品 及び 工具損料</th><th>塗装工 （人）</th><th>無溶剤型 エポキシ 樹脂（kg）</th><th>消耗品 及び 工具損料</th></tr><tr><td>800</td><td>1.08</td><td>1.30</td><td rowspan="6">材料費の 75%</td><td rowspan="6">1.60</td><td rowspan="6">2.16</td><td rowspan="6">材料費の 75%</td></tr><tr><td>900</td><td>〃</td><td>1.47</td></tr><tr><td>1,000</td><td>1.61</td><td>1.63</td></tr><tr><td>1,100</td><td>〃</td><td>1.79</td></tr><tr><td>1,200</td><td>〃</td><td>1.96</td></tr><tr><td>1,350</td><td>〃</td><td>2.20</td></tr><tr><td>1,500</td><td>1.61</td><td>3.38</td><td rowspan="3">材料費の 75%</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>1,600</td><td>〃</td><td>3.61</td></tr><tr><td>1,800</td><td>〃</td><td>4.15</td></tr></table> （注） 水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗装（厚 0.5 mm）の使用量 ＝塗装面積×2.16 kg／m²	呼 び 径 (mm)	内 面 塗 装 費						0.5mm						管円周部（1 口当り）			管軸方向部（1 m ² 当り）			労務費	材料費		労務費	材料費		塗装工 （人）	無溶剤型 エポキシ 樹脂（kg）	消耗品 及び 工具損料	塗装工 （人）	無溶剤型 エポキシ 樹脂（kg）	消耗品 及び 工具損料	800	1.08	1.30	材料費の 75%	1.60	2.16	材料費の 75%	900	〃	1.47	1,000	1.61	1.63	1,100	〃	1.79	1,200	〃	1.96	1,350	〃	2.20	1,500	1.61	3.38	材料費の 75%				1,600	〃	3.61	1,800	〃	4.15
呼 び 径 (mm)	内 面 塗 装 費																																																																			
	0.5mm																																																																			
	管円周部（1 口当り）			管軸方向部（1 m ² 当り）																																																																
	労務費	材料費		労務費	材料費																																																															
	塗装工 （人）	無溶剤型 エポキシ 樹脂（kg）	消耗品 及び 工具損料	塗装工 （人）	無溶剤型 エポキシ 樹脂（kg）	消耗品 及び 工具損料																																																														
800	1.08	1.30	材料費の 75%	1.60	2.16	材料費の 75%																																																														
900	〃	1.47																																																																		
1,000	1.61	1.63																																																																		
1,100	〃	1.79																																																																		
1,200	〃	1.96																																																																		
1,350	〃	2.20																																																																		
1,500	1.61	3.38	材料費の 75%																																																																	
1,600	〃	3.61																																																																		
1,800	〃	4.15																																																																		

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																													
改 訂 （ P 7 9 ）	第10節 既設管撤去工 2-10-1 適用範囲 この基準は、管布設替工事による撤去管(呼び径1,000mm以下)の切断又は継手取外し、撤去管吊上げ積込みに適用する。 2-10-2 鋳鉄管切断歩掛表 撤去管の切断歩掛りは、次表の補正対象歩掛りに補正係数を乗じて算出する。 第 1 表 <table><tr><th colspan="2">撤去管</th><th rowspan="2">補正対象歩掛</th><th rowspan="2">補正係数</th></tr><tr><th>材 質</th><th>呼び径</th></tr><tr><td rowspan="2">鋳鉄 (FC)</td><td>350mm以下</td><td>「鋳鉄管切断歩掛表」</td><td>0.25</td></tr><tr><td>400mm以上 1,000mm以下</td><td>「 ♪ 」</td><td>0.35</td></tr><tr><td rowspan="2">ダクタイル鋳鉄管 (FCD)</td><td>350mm以下</td><td>「 ♪ 」</td><td>0.27</td></tr><tr><td>400mm以上 1,000mm以下</td><td>「 ♪ 」</td><td>0.46</td></tr></table> 備考 1. 鋳鉄 (FC) は原則として切断するものとする。切断数量は 6 m 当り 1 箇所を標準とするが、現場の状況に応じて別途定めることができる。 2. 切断機械の損料は、別途損料算定表（参考資料）による。 2-10-5 撤去管吊上げ積込み歩掛表 撤去管の吊上げ積込み歩掛りは、次表の補正対象歩掛りに補正係数を乗じて算出する。 第 5 表 <table><tr><th>撤去管種</th><th>補正対象歩掛</th><th>補正係数</th></tr><tr><td rowspan="2">鋳鉄管</td><td>「吊込み据付(機械力)歩掛表」</td><td>0.60</td></tr><tr><td>「吊込み据付(人力)歩掛表」</td><td>0.60</td></tr></table>	撤去管		補正対象歩掛	補正係数	材 質	呼び径	鋳鉄 (FC)	350mm以下	「鋳鉄管切断歩掛表」	0.25	400mm以上 1,000mm以下	「 ♪ 」	0.35	ダクタイル鋳鉄管 (FCD)	350mm以下	「 ♪ 」	0.27	400mm以上 1,000mm以下	「 ♪ 」	0.46	撤去管種	補正対象歩掛	補正係数	鋳鉄管	「吊込み据付(機械力)歩掛表」	0.60	「吊込み据付(人力)歩掛表」	0.60	第10節 既設管撤去工 2-10-1 適用範囲 この基準は、管布設替工事による撤去管(呼び径 1,000mm 以下)の切断又は継手取外し、撤去管吊上げ積込みに適用する。 2-10-2 撤去管切断歩掛表 撤去管の切断歩掛りは、次表の補正対象歩掛りに補正係数を乗じて算出する。 第 1 表 <table><tr><th colspan="2">撤去管種</th><th rowspan="2">補正対象歩掛表</th><th rowspan="2">補正係数</th></tr><tr><th>材質</th><th>呼び径</th></tr><tr><td rowspan="2">鋳鉄 (FC)</td><td>350mm 以下</td><td>「鋳鉄管切断歩掛表」</td><td>0.25</td></tr><tr><td>400mm 以上 1,000mm 以下</td><td>「 ♪ 」</td><td>0.35</td></tr><tr><td rowspan="2">ダクタイル鋳鉄管 (FCD)</td><td>350mm 以下</td><td>「 ♪ 」</td><td>0.27</td></tr><tr><td>400mm 以上 1,000mm 以下</td><td>「 ♪ 」</td><td>0.46</td></tr><tr><td>鋼管 (STW290, STW370, STW400)</td><td>350mm 以下</td><td>「鋼管切断歩掛表」</td><td>0.25</td></tr><tr><td rowspan="2">鋼管 (STW400, STW400B)</td><td>400mm 以上</td><td rowspan="2">「 ♪ 」</td><td rowspan="2">0.35</td></tr><tr><td>1,000mm 以下</td></tr><tr><td>硬質塩化ビニル管</td><td>—</td><td>「硬質塩化ビニル管切断歩掛表」</td><td>0.25</td></tr></table> 備考 1. 撤去管は原則として切断するものとする。切断数量は 6 m 当り 1 箇所を標準とするが、現場の状況に応じて別途定めることができる。 2. 鋳鉄管切断機械の損料は、別途損料算定表（参考資料）による。 2-10-5 撤去管吊上げ積込み歩掛表 撤去管の吊上げ積込み歩掛りは、次表の補正対象歩掛りに補正係数を乗じて算出する。 第 5 表 <table><tr><th>撤去管種</th><th>補正対象歩掛表</th><th>補正係数</th></tr><tr><td rowspan="2">鋳鉄管</td><td>「吊込み据付(機械力)」歩掛表</td><td>0.60</td></tr><tr><td>「吊込み据付(人力)」歩掛表</td><td>0.60</td></tr><tr><td rowspan="2">鋼管</td><td>「吊込み据付(機械力)」歩掛表</td><td>0.60</td></tr><tr><td>「吊込み据付(人力)」歩掛表</td><td>0.60</td></tr><tr><td>硬質塩化ビニル管</td><td>「硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工</td><td>0.60</td></tr></table>	撤去管種		補正対象歩掛表	補正係数	材質	呼び径	鋳鉄 (FC)	350mm 以下	「鋳鉄管切断歩掛表」	0.25	400mm 以上 1,000mm 以下	「 ♪ 」	0.35	ダクタイル鋳鉄管 (FCD)	350mm 以下	「 ♪ 」	0.27	400mm 以上 1,000mm 以下	「 ♪ 」	0.46	鋼管 (STW290, STW370, STW400)	350mm 以下	「鋼管切断歩掛表」	0.25	鋼管 (STW400, STW400B)	400mm 以上	「 ♪ 」	0.35	1,000mm 以下	硬質塩化ビニル管	—	「硬質塩化ビニル管切断歩掛表」	0.25	撤去管種	補正対象歩掛表	補正係数	鋳鉄管	「吊込み据付(機械力)」歩掛表	0.60	「吊込み据付(人力)」歩掛表	0.60	鋼管	「吊込み据付(機械力)」歩掛表	0.60	「吊込み据付(人力)」歩掛表	0.60	硬質塩化ビニル管	「硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工	0.60
撤去管		補正対象歩掛	補正係数																																																																												
材 質	呼び径																																																																														
鋳鉄 (FC)	350mm以下	「鋳鉄管切断歩掛表」	0.25																																																																												
	400mm以上 1,000mm以下	「 ♪ 」	0.35																																																																												
ダクタイル鋳鉄管 (FCD)	350mm以下	「 ♪ 」	0.27																																																																												
	400mm以上 1,000mm以下	「 ♪ 」	0.46																																																																												
撤去管種	補正対象歩掛	補正係数																																																																													
鋳鉄管	「吊込み据付(機械力)歩掛表」	0.60																																																																													
	「吊込み据付(人力)歩掛表」	0.60																																																																													
撤去管種		補正対象歩掛表	補正係数																																																																												
材質	呼び径																																																																														
鋳鉄 (FC)	350mm 以下	「鋳鉄管切断歩掛表」	0.25																																																																												
	400mm 以上 1,000mm 以下	「 ♪ 」	0.35																																																																												
ダクタイル鋳鉄管 (FCD)	350mm 以下	「 ♪ 」	0.27																																																																												
	400mm 以上 1,000mm 以下	「 ♪ 」	0.46																																																																												
鋼管 (STW290, STW370, STW400)	350mm 以下	「鋼管切断歩掛表」	0.25																																																																												
鋼管 (STW400, STW400B)	400mm 以上	「 ♪ 」	0.35																																																																												
	1,000mm 以下																																																																														
硬質塩化ビニル管	—	「硬質塩化ビニル管切断歩掛表」	0.25																																																																												
撤去管種	補正対象歩掛表	補正係数																																																																													
鋳鉄管	「吊込み据付(機械力)」歩掛表	0.60																																																																													
	「吊込み据付(人力)」歩掛表	0.60																																																																													
鋼管	「吊込み据付(機械力)」歩掛表	0.60																																																																													
	「吊込み据付(人力)」歩掛表	0.60																																																																													
硬質塩化ビニル管	「硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工	0.60																																																																													
(P 8 0)																																																																															

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																												
改 訂 (P 1 5 0)	(3) 代価表 第53表 支圧壁工 <table><tr><td>名 称</td><td>形 状</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>H 鋼 損 料</td><td>H250×250</td><td>式</td><td>1</td><td>○ t × (短期損料×日数+修理費)</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>H形鋼の20%</td></tr><tr><td>鋼 材 設 置 工</td><td></td><td>t</td><td></td><td></td></tr><tr><td>〃 撤 去 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 備考 H鋼損料は山留用の損料を適用し、日数は次のとおり算出する。 日数＝（設置日数＋シールド機組立設置日数＋初期発進日数＋撤去日数）×1.2	名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要	H 鋼 損 料	H250×250	式	1	○ t × (短期損料×日数+修理費)	雑 材 料		式	1	H形鋼の20%	鋼 材 設 置 工		t			〃 撤 去 工		〃			計					(3) 代価表 第53表 支圧壁工 <table><tr><td>名 称</td><td>形 状</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>H 鋼 損 料</td><td>H250×250</td><td>式</td><td>1</td><td>○ t × (短期損料×日数+修理費)</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>H形鋼の20%</td></tr><tr><td>鋼 材 設 置 工</td><td></td><td>t</td><td></td><td></td></tr><tr><td>〃 撤 去 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 備考 H鋼損料は山留用の損料を適用し、日数は次のとおり算出する。 日数＝（設置日数＋シールド機組立設置日数＋初期発進日数＋撤去日数）×1.2^{1.5}	名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要	H 鋼 損 料	H250×250	式	1	○ t × (短期損料×日数+修理費)	雑 材 料		式	1	H形鋼の20%	鋼 材 設 置 工		t			〃 撤 去 工		〃			計				
名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要																																																										
H 鋼 損 料	H250×250	式	1	○ t × (短期損料×日数+修理費)																																																										
雑 材 料		式	1	H形鋼の20%																																																										
鋼 材 設 置 工		t																																																												
〃 撤 去 工		〃																																																												
計																																																														
名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要																																																										
H 鋼 損 料	H250×250	式	1	○ t × (短期損料×日数+修理費)																																																										
雑 材 料		式	1	H形鋼の20%																																																										
鋼 材 設 置 工		t																																																												
〃 撤 去 工		〃																																																												
計																																																														

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																																
改 訂 (P 1 5 2)	(2) 歩 掛 鋼材の設置及び撤去の歩掛は、支圧壁工の鋼材設置、撤去工歩掛による。又、床板材の敷設及び撤去工は相当 り普通作業員0.08人とする。 第54表 作業床工 (1㎡当り) <table><tr><th>名 称</th><th>形 状</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>H 鋼 損 料</td><td>H300×300 H150×150</td><td>式</td><td>1</td><td>0.341 t × (長期損料×日数+修理費)</td></tr><tr><td>木 材</td><td>松 厚 板</td><td>㎡</td><td>0.03</td><td>価格×0.8</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>木材の1%</td></tr><tr><td>鋼 材 設 置 工</td><td></td><td>t</td><td>0.341</td><td>第52表</td></tr><tr><td>〃 撤 去 工</td><td></td><td>〃</td><td>0.341</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.08</td><td>床板材敷設撤去手間</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 備考 H鋼損料は、山留用の損料を適用する。日数は次のとおり。 日数＝（設置日数+本掘進日数+二次覆工日数+撤去日数）×1.2 ただし、本掘進日数は工期算定の⑧→⑨とする。	名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要	H 鋼 損 料	H300×300 H150×150	式	1	0.341 t × (長期損料×日数+修理費)	木 材	松 厚 板	㎡	0.03	価格×0.8	雑 材 料		式	1	木材の1%	鋼 材 設 置 工		t	0.341	第52表	〃 撤 去 工		〃	0.341	〃	普 通 作 業 員		人	0.08	床板材敷設撤去手間	計					(2) 歩 掛 鋼材の設置及び撤去の歩掛は、支圧壁工の鋼材設置、撤去工歩掛による。又、床板材の敷設及び撤去工は相当 り普通作業員0.08人とする。 第54表 作業床工 (1㎡当り) <table><tr><th>名 称</th><th>形 状</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>H 鋼 損 料</td><td>H300×300 H150×150</td><td>式</td><td>1</td><td>0.341 t × (長期損料×日数+修理費)</td></tr><tr><td>木 材</td><td>松 厚 板</td><td>㎡</td><td>0.03</td><td>価格×0.8</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>木材の1%</td></tr><tr><td>鋼 材 設 置 工</td><td></td><td>t</td><td>0.341</td><td>第52表</td></tr><tr><td>〃 撤 去 工</td><td></td><td>〃</td><td>0.341</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.08</td><td>床板材敷設撤去手間</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 備考 H鋼損料は、山留用の損料を適用する。日数は次のとおり。 1.5 日数＝（設置日数+本掘進日数+二次覆工日数+撤去日数）×1.2 ただし、本掘進日数は工期算定の⑧→⑨とする。	名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要	H 鋼 損 料	H300×300 H150×150	式	1	0.341 t × (長期損料×日数+修理費)	木 材	松 厚 板	㎡	0.03	価格×0.8	雑 材 料		式	1	木材の1%	鋼 材 設 置 工		t	0.341	第52表	〃 撤 去 工		〃	0.341	〃	普 通 作 業 員		人	0.08	床板材敷設撤去手間	計				
名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要																																																																														
H 鋼 損 料	H300×300 H150×150	式	1	0.341 t × (長期損料×日数+修理費)																																																																														
木 材	松 厚 板	㎡	0.03	価格×0.8																																																																														
雑 材 料		式	1	木材の1%																																																																														
鋼 材 設 置 工		t	0.341	第52表																																																																														
〃 撤 去 工		〃	0.341	〃																																																																														
普 通 作 業 員		人	0.08	床板材敷設撤去手間																																																																														
計																																																																																		
名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要																																																																														
H 鋼 損 料	H300×300 H150×150	式	1	0.341 t × (長期損料×日数+修理費)																																																																														
木 材	松 厚 板	㎡	0.03	価格×0.8																																																																														
雑 材 料		式	1	木材の1%																																																																														
鋼 材 設 置 工		t	0.341	第52表																																																																														
〃 撤 去 工		〃	0.341	〃																																																																														
普 通 作 業 員		人	0.08	床板材敷設撤去手間																																																																														
計																																																																																		

平成23年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成22年度）	改訂（平成23年度）																																																																						
改訂 (P159)	(2) 代価表 第72表 軌条設備工 (1m当り) <table><tr><th>名 称</th><th>形 状</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>レール 損 料</td><td></td><td>m</td><td>200</td><td>m当り損料×損料日数</td></tr><tr><td>一次覆工まくら木損料</td><td></td><td>t</td><td></td><td></td></tr><tr><td>配管まくら木損料</td><td></td><td>t</td><td></td><td>価格×50%</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>まくら木損料の10%計上</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td>100m当り</td></tr><tr><td>1 m 当 り</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 備考 1. まくら木の加工が必要な場合は、加工費を別途計上することができる。 2. レール及び一次覆工まくら木の損料日数は、次式による。 レール損料日数=$\frac{(\text{一次覆工日数}+\text{二次覆工日数})\times 1.2}{2}$+坑内整備日数×1.2 一次覆工まくら木損料日数=$\frac{(\text{一次覆工日数}+\text{坑内整備日数})\times 1.2}{2}$ 3. 一次覆工まくら木の損料は次のとおり t 当り損料＝損料日数×供用日割損料＋整理費（軽作業） 4. 雑材料には、ベシ、モール、クリップ、酸素、アセチレン、足場板等を含む。 5. 設置、撤去保守に要する労力は、一次、二次覆工に含まれるので本工種では計上しない。	名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要	レール 損 料		m	200	m当り損料×損料日数	一次覆工まくら木損料		t			配管まくら木損料		t		価格×50%	雑 材 料		式	1	まくら木損料の10%計上	計				100m当り	1 m 当 り					(2) 代価表 第72表 軌条設備工 (1m当り) <table><tr><th>名 称</th><th>形 状</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>レール 損 料</td><td></td><td>m</td><td>200</td><td>m当り損料×損料日数</td></tr><tr><td>一次覆工まくら木損料</td><td></td><td>t</td><td></td><td></td></tr><tr><td>配管まくら木損料</td><td></td><td>t</td><td></td><td>価格×50%</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>まくら木損料の10%計上</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td>100m当り</td></tr><tr><td>1 m 当 り</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 備考 1. まくら木の加工が必要な場合は、加工費を別途計上することができる。 2. レール及び一次覆工まくら木の損料日数は、次式による。 レール損料日数=$\frac{(\text{一次覆工日数}+\text{二次覆工日数})\times\cancel{1.2}}{2}$+坑内整備日数×$\cancel{1.2}$ 一次覆工まくら木損料日数=$\frac{(\text{一次覆工日数}+\text{坑内整備日数})\times\cancel{1.2}}{2}$ 3. 一次覆工まくら木の損料は次のとおり t 当り損料＝損料日数×供用日割損料＋整理費（軽作業） 4. 雑材料には、ベシ、モール、クリップ、酸素、アセチレン、足場板等を含む。 5. 設置、撤去保守に要する労力は、一次、二次覆工に含まれるので本工種では計上しない。	名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要	レール 損 料		m	200	m当り損料×損料日数	一次覆工まくら木損料		t			配管まくら木損料		t		価格×50%	雑 材 料		式	1	まくら木損料の10%計上	計				100m当り	1 m 当 り				
名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要																																																																				
レール 損 料		m	200	m当り損料×損料日数																																																																				
一次覆工まくら木損料		t																																																																						
配管まくら木損料		t		価格×50%																																																																				
雑 材 料		式	1	まくら木損料の10%計上																																																																				
計				100m当り																																																																				
1 m 当 り																																																																								
名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要																																																																				
レール 損 料		m	200	m当り損料×損料日数																																																																				
一次覆工まくら木損料		t																																																																						
配管まくら木損料		t		価格×50%																																																																				
雑 材 料		式	1	まくら木損料の10%計上																																																																				
計				100m当り																																																																				
1 m 当 り																																																																								

平成23年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成22年度）	改訂（平成23年度）																																																		
改訂 (P160)	3) 材料損料 第74表 材料損料 (1m当り) <table><tr><th>名 称</th><th>形 状</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>鋼 管 損 料</td><td>○mm</td><td>m</td><td>100</td><td>損料×日数</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>鋼管損料の50%を計上</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td>100m当り</td></tr><tr><td>1 m 当 り</td><td></td><td></td><td></td><td>計÷100</td></tr></table> 備考 1. 鋼管の供用日当り損料率は877×10^{-6}とする。 2. 損料日数は次のとおり (1) 給水用 (シールド発進設備開始から配管完了までの実日数×1.2) ÷2 (2) 排水用（水替用）は、発進設備開始から配管完了までの実日数×1.2 なお、中継ポンプ用の排水管の損料日数は別途考慮する。 (3) 排水用（坑内整備用） (坑内整備工実日数×1.2) ÷2 (4) 作業用（トンネル内配管作業用） (トンネル内配管実日数×1.2) ÷2 3. 雑材料は、各種パルプ及び継手材として、鋼管損料の50%を計上する。	名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要	鋼 管 損 料	○mm	m	100	損料×日数	雑 材 料		式	1	鋼管損料の50%を計上	計				100m当り	1 m 当 り				計÷100	3) 材料損料 第74表 材料損料 (1m当り) <table><tr><th>名 称</th><th>形 状</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>鋼 管 損 料</td><td>○mm</td><td>m</td><td>100</td><td>損料×日数</td></tr><tr><td>雑 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>鋼管損料の50%を計上</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td>100m当り</td></tr><tr><td>1 m 当 り</td><td></td><td></td><td></td><td>計÷100</td></tr></table> 備考 1. 鋼管の供用日当り損料率は877×10^{-6}とする。 2. 損料日数は次のとおり (1) 給水用 (シールド発進設備開始から配管完了までの実日数×1.2^{1.5}) ÷2 (2) 排水用（水替用）は、発進設備開始から配管完了までの実日数×1.2^{1.5} なお、中継ポンプ用の排水管の損料日数は別途考慮する。 (3) 排水用（坑内整備用） (坑内整備工実日数×1.2^{1.5}) ÷2 (4) 作業用（トンネル内配管作業用） (トンネル内配管実日数×1.2^{1.5}) ÷2 3. 雑材料は、各種パルプ及び継手材として、鋼管損料の50%を計上する。	名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要	鋼 管 損 料	○mm	m	100	損料×日数	雑 材 料		式	1	鋼管損料の50%を計上	計				100m当り	1 m 当 り				計÷100
名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要																																																
鋼 管 損 料	○mm	m	100	損料×日数																																																
雑 材 料		式	1	鋼管損料の50%を計上																																																
計				100m当り																																																
1 m 当 り				計÷100																																																
名 称	形 状	単 位	数 量	摘 要																																																
鋼 管 損 料	○mm	m	100	損料×日数																																																
雑 材 料		式	1	鋼管損料の50%を計上																																																
計				100m当り																																																
1 m 当 り				計÷100																																																

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																												
改 訂 （ P 1 9 6 ）	4 溶接、塗装工 （1）溶接工 仮付後の溶接作業である。積算は、「2－4－5 電気溶接歩掛表」による。 なお、巻込鋼管の管軸方向については、次のとおり算出する。 管軸方向の溶接費＝管軸方向溶接延長×m当り溶接費 ただし、m当り溶接費＝{代価（1口当り溶接費）÷周長}×0.9 （2）塗装工（水道用液状エポキシ樹脂塗装） 積算は「2－4－7 内外面塗装歩掛」による。巻込鋼管の管軸方向は、次式で算出する。 管軸方向溶接箇所塗装工＝管軸方向塗装面積×㎡当り塗装費 ただし、㎡当り塗装費＝代価（1口当り塗装費）÷（周長×0.24m又は0.34m） （3）塗装工（水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗装） ア 適用範囲 現場における水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料による鋼管内面の塗装に適用する。 （ア）管円周部 第36表（1口当り） <table><tr><th>呼 径 (mm)</th><th>塗 装 幅 (mm)</th><th>塗 装 厚 (mm)</th><th>塗 装 工 (人)</th><th>塗 料 (kg)</th><th>消耗品及び 工 具 損 料</th></tr><tr><td>800</td><td>240</td><td>0.5</td><td>1.08</td><td>1.30</td><td>塗装材料費の75%</td></tr><tr><td>900</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>1.47</td><td>〃</td></tr><tr><td>1,000</td><td>〃</td><td>〃</td><td>1.61</td><td>1.63</td><td>〃</td></tr><tr><td>1,100</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>1.79</td><td>〃</td></tr><tr><td>1,200</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>1.96</td><td>〃</td></tr><tr><td>1,350</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>2.20</td><td>〃</td></tr><tr><td>1,500</td><td>340</td><td>〃</td><td>〃</td><td>3.38</td><td>〃</td></tr><tr><td>1,600</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>3.61</td><td>〃</td></tr><tr><td>1,800</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>4.15</td><td>〃</td></tr></table> （注）水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料（厚 0.5 mm）の使用量＝塗装面積×2.16 kg／㎡	呼 径 (mm)	塗 装 幅 (mm)	塗 装 厚 (mm)	塗 装 工 (人)	塗 料 (kg)	消耗品及び 工 具 損 料	800	240	0.5	1.08	1.30	塗装材料費の75%	900	〃	〃	〃	1.47	〃	1,000	〃	〃	1.61	1.63	〃	1,100	〃	〃	〃	1.79	〃	1,200	〃	〃	〃	1.96	〃	1,350	〃	〃	〃	2.20	〃	1,500	340	〃	〃	3.38	〃	1,600	〃	〃	〃	3.61	〃	1,800	〃	〃	〃	4.15	〃	4 溶接、塗装工 （1）溶接工 仮付後の溶接作業である。積算は、「2－4－5 電気溶接歩掛表」による。 なお、巻込鋼管の管軸方向については、次のとおり算出する。 管軸方向の溶接費＝管軸方向溶接延長×m当り溶接費 ただし、m当り溶接費＝{代価（1口当り溶接費）÷周長}×0.9 （2）塗装工（水道用液状エポキシ樹脂塗装） 積算は「2－4－7 内外面塗装歩掛」による。巻込鋼管の管軸方向は、次式で算出する。 管軸方向溶接箇所塗装工＝管軸方向塗装面積×㎡当り塗装費 ただし、㎡当り塗装費＝代価（1口当り塗装費）÷（周長×0.24m又は0.34m） （3）塗装工（水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗装） ア 適用範囲 現場における水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料による鋼管内面の塗装に適用する。 （ア）管円周部 第36表（削除） 積算は、「2－4－7 内外面塗装歩掛」による。巻込鋼管の管軸方向は、次式で算出する。 管軸方向溶接箇所塗装工＝管軸方向塗装面積×㎡当り塗装費 ただし、㎡当り塗装費＝代価（1口当り塗装費）÷（周長×0.24m又は0.34m）
呼 径 (mm)	塗 装 幅 (mm)	塗 装 厚 (mm)	塗 装 工 (人)	塗 料 (kg)	消耗品及び 工 具 損 料																																																									
800	240	0.5	1.08	1.30	塗装材料費の75%																																																									
900	〃	〃	〃	1.47	〃																																																									
1,000	〃	〃	1.61	1.63	〃																																																									
1,100	〃	〃	〃	1.79	〃																																																									
1,200	〃	〃	〃	1.96	〃																																																									
1,350	〃	〃	〃	2.20	〃																																																									
1,500	340	〃	〃	3.38	〃																																																									
1,600	〃	〃	〃	3.61	〃																																																									
1,800	〃	〃	〃	4.15	〃																																																									

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																																								
改 訂 （P 1 9 7）	（イ）管軸方向部（巻込鋼管） 管軸方向の溶接部の塗装工については次式のとおりとする。 管軸方向溶接箇所塗装工＝管軸方向塗装面積×㎡当り塗装費 第 3 7 表（ 1 ㎡当り） <table><tr><td>呼 径 (mm)</td><td>塗装厚 (mm)</td><td>塗装工 (人)</td><td>無 溶 剤 型 エポキシ樹脂塗料 (kg)</td><td>消耗品及び工具損料</td></tr><tr><td>800</td><td rowspan="9">0.5</td><td rowspan="9">1.60</td><td rowspan="9">2.16</td><td rowspan="9">塗装材料費の75%</td></tr><tr><td>900</td></tr><tr><td>1,000</td></tr><tr><td>1,100</td></tr><tr><td>1,200</td></tr><tr><td>1,350</td></tr><tr><td>1,500</td></tr><tr><td>1,600</td></tr><tr><td>1,800</td></tr></table> ウ 歩掛表 （ア）鋼管内面塗覆装工（無溶剤型エポキシ樹脂、管円周部）（管径区分別） 第 3 8 表（ 1 口当り） <table><tr><td>番号</td><td>名 称</td><td>形 状</td><td>単位</td><td>数 量</td><td>金 額</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>①</td><td>塗 装 工</td><td></td><td>人</td><td></td><td></td><td>第 3 6 表</td></tr><tr><td>②</td><td>水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料</td><td></td><td>kg</td><td></td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>③</td><td>消 耗 品 及 び 工 具 損 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>②×75%</td><td>〃</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> （イ）鋼管内面塗覆装工（無溶剤型エポキシ樹脂、管軸方向部） 第 3 8 表（ 1 ㎡当り） <table><tr><td>番号</td><td>名 称</td><td>形 状</td><td>単位</td><td>数 量</td><td>金 額</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>①</td><td>塗 装 工</td><td></td><td>人</td><td>1.60</td><td></td><td>第 3 7 表</td></tr><tr><td>②</td><td>水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料</td><td></td><td>kg</td><td>2.16</td><td></td><td></td></tr><tr><td>③</td><td>消 耗 品 及 び 工 具 損 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>②×75%</td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	呼 径 (mm)	塗装厚 (mm)	塗装工 (人)	無 溶 剤 型 エポキシ樹脂塗料 (kg)	消耗品及び工具損料	800	0.5	1.60	2.16	塗装材料費の75%	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,600	1,800	番号	名 称	形 状	単位	数 量	金 額	摘 要	①	塗 装 工		人			第 3 6 表	②	水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料		kg			〃	③	消 耗 品 及 び 工 具 損 料		式	1	②×75%	〃		計						番号	名 称	形 状	単位	数 量	金 額	摘 要	①	塗 装 工		人	1.60		第 3 7 表	②	水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料		kg	2.16			③	消 耗 品 及 び 工 具 損 料		式	1	②×75%			計						削除
呼 径 (mm)	塗装厚 (mm)	塗装工 (人)	無 溶 剤 型 エポキシ樹脂塗料 (kg)	消耗品及び工具損料																																																																																						
800	0.5	1.60	2.16	塗装材料費の75%																																																																																						
900																																																																																										
1,000																																																																																										
1,100																																																																																										
1,200																																																																																										
1,350																																																																																										
1,500																																																																																										
1,600																																																																																										
1,800																																																																																										
番号	名 称	形 状	単位	数 量	金 額	摘 要																																																																																				
①	塗 装 工		人			第 3 6 表																																																																																				
②	水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料		kg			〃																																																																																				
③	消 耗 品 及 び 工 具 損 料		式	1	②×75%	〃																																																																																				
	計																																																																																									
番号	名 称	形 状	単位	数 量	金 額	摘 要																																																																																				
①	塗 装 工		人	1.60		第 3 7 表																																																																																				
②	水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗料		kg	2.16																																																																																						
③	消 耗 品 及 び 工 具 損 料		式	1	②×75%																																																																																					
	計																																																																																									

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）															
新 規		第4章 耐震補強設計歩掛 第 1 節 RC 配水池 耐震補強設計歩掛 4-1-1 適用範囲 この積算歩掛は、送・配水施設のうち標準的な既存鉄筋コンクリート造配水池・調整池（以下、「RC 配水池」という。）に係る耐震診断(詳細診断)及び耐震補強工事の実施設計を業務委託する場合に適用する。 耐震補強工事を行うためには、耐震診断（詳細診断）を行い、既存施設の耐震性の程度を把握し、耐震性能を満足しているかどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含めた耐震化対策の検討を経た上で、耐震補強工事の設計を行う手順となる。 本設計歩掛では、この手順を基本として考える一方、耐震診断（詳細診断）の結果、補強を必要としない場合、あるいは耐震診断（詳細診断）を行わず耐震補強を実施する場合を想定し、耐震診断（詳細診断）と耐震補強工事の実施設計の基本歩掛を別々に示した。 第 1 表 耐震診断（詳細診断）と耐震補強工事の実施設計における歩掛表使用ケース <table><tr><th>歩掛表使用ケース</th><th>耐震診断（詳細診断）</th><th>耐震補強工事の実施設計</th></tr><tr><td>標準的な手順</td><td>基本歩掛（第 3 表）</td><td>基本歩掛（第 4 表）</td></tr><tr><td>耐震診断のみ （耐震診断の結果、補強が必要ない場合）</td><td>基本歩掛（第 3 表）</td><td>—</td></tr><tr><td>耐震補強工事のみ （簡易診断で補強が必要であると判断した場合）</td><td>—</td><td>基本歩掛（第 4 表）</td></tr><tr><td>高度な解析（動的解析等）を実施する場合</td><td>別途積算</td><td>別途積算</td></tr></table> ただし、耐震診断(詳細診断)の結果、施設を新設する場合は、耐震補強工事の実施設計歩掛を適用せず、配水池設計歩掛を適用するものとする。 また、次に示す診断・設計業務については別途積算計上する。 (ア) 既存配水池が他の施設（公民館等）と一体となっている複合施設 (イ) 耐震化に伴う既存配水池の撤去及び配水池の新設 (ウ) 自家発電機設備、制御設備、塩素注入設備及びそれらの建築施設 (エ) 補強工事に伴う大規模な工事用の取付道路及び造成等	歩掛表使用ケース	耐震診断（詳細診断）	耐震補強工事の実施設計	標準的な手順	基本歩掛（第 3 表）	基本歩掛（第 4 表）	耐震診断のみ （耐震診断の結果、補強が必要ない場合）	基本歩掛（第 3 表）	—	耐震補強工事のみ （簡易診断で補強が必要であると判断した場合）	—	基本歩掛（第 4 表）	高度な解析（動的解析等）を実施する場合	別途積算	別途積算
歩掛表使用ケース	耐震診断（詳細診断）	耐震補強工事の実施設計															
標準的な手順	基本歩掛（第 3 表）	基本歩掛（第 4 表）															
耐震診断のみ （耐震診断の結果、補強が必要ない場合）	基本歩掛（第 3 表）	—															
耐震補強工事のみ （簡易診断で補強が必要であると判断した場合）	—	基本歩掛（第 4 表）															
高度な解析（動的解析等）を実施する場合	別途積算	別途積算															

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）								
新 規		（オ）事業計画(認可設計)に係る業務 （カ）関連配水系統の全体管網解析 （キ）連続地中壁の本体利用 （ク）その他、第 2 表に定められていない施設 （ケ）開発行為諸手続 第 2 表 RC 配水池耐震診断(詳細診断)・耐震補強工事の実施設計適用対象主要施設 <table><tr><th>施設名</th><th>土 木</th></tr><tr><td>配水池</td><td>躯体構造の補強</td></tr><tr><td>・</td><td>耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー</td></tr><tr><td>調整池</td><td>管、排水管)及び人孔の移設</td></tr></table> 基本歩掛は標準的なものであり、第 4 章第 1 節で示した委託内容及び以下に示す項目について別途積算計上する。 （イ）法規による各種の指定等の解除、または公共用地占用等のための申請ならびに申請書作成業務 （ロ）既設構造物の取りこわしの設計 （ハ）分割施工の場合 （ニ）上部利用施設のある場合 （ホ）構造物の劣化状況を把握するための各種試験及び劣化目視調査 （ヘ）2 次元静的非線形解析、3 次元静的解析、動的解析、FEM 解析等の高度な解析 （ト）日影図、模型の作成がある場合 （チ）送・配水場周辺の環境条件が次に示すように、設計業務上特別の配慮を必要とする場合 ・風致地区等で建造物に特別な構造、またはデザインを必要とする場合 ・既存の土木構造物に影響を及ぼすと判断される立地条件及び気象条件（凍結、雪害、塩害等）により、特別な検討や施設設計を伴う場合 （リ）耐震診断(詳細診断)・耐震補強工事の実施設計に伴う建築、機械及び電気設計	施設名	土 木	配水池	躯体構造の補強	・	耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー	調整池	管、排水管)及び人孔の移設
施設名	土 木									
配水池	躯体構造の補強									
・	耐震補強に伴う壁埋め込み管(流入、流出、オーバーフロー									
調整池	管、排水管)及び人孔の移設									

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																																																																																																																																																																																																										
新 規		4-1-2 基本歩掛 4-1-2-1 耐震診断（詳細診断） 第3表 R C配水池耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 基準(対象)容量1,000m3当り（単位:人） <table><tr><th colspan="2">作 業 項 目</th><th>技師長</th><th>主任技師</th><th>技師(A)</th><th>技師(B)</th><th>技師(C)</th><th>技術員</th><th>計</th></tr><tr><td colspan="2">設 計 協 議</td><td colspan="7">第5表により積算計上</td></tr><tr><td colspan="2">現 地 調 査</td><td colspan="7">第6表により積算計上</td></tr><tr><td rowspan="16">配水池・調整池</td><td>既 存 資 料 調 査</td><td colspan="7">既存資料収集・整理</td><td>0.2</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.2</td><td>1.2</td></tr><tr><td rowspan="2">診断条件 整理</td><td colspan="7">地盤検討</td><td>0.2</td><td>0.4</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>1.1</td></tr><tr><td colspan="7">耐震基本方針及び設計地震動設定</td><td>0.2</td><td>0.4</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>1.1</td></tr><tr><td rowspan="4">耐震 診断評価</td><td colspan="7">解析モデル作成</td><td></td><td>0.1</td><td>0.4</td><td>0.8</td><td>0.7</td><td>0.3</td><td>2.3</td></tr><tr><td colspan="7">耐震診断</td><td></td><td>0.2</td><td>0.8</td><td>1.5</td><td>1.4</td><td>0.8</td><td>4.7</td></tr><tr><td colspan="7">耐震性能の照査</td><td></td><td>0.1</td><td>0.4</td><td>0.8</td><td>0.7</td><td>0.3</td><td>2.3</td></tr><tr><td colspan="7">総合評価</td><td></td><td>0.1</td><td>0.2</td><td>0.5</td><td>0.4</td><td>0.2</td><td>1.4</td></tr><tr><td rowspan="7">対策案 の検討</td><td colspan="7">補強対策検討</td><td></td><td>0.1</td><td>0.3</td><td>0.6</td><td>0.5</td><td>0.2</td><td>1.7</td></tr><tr><td colspan="7">劣化対策検討</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.1</td><td>1.1</td></tr><tr><td colspan="7">対策後の構造解析</td><td></td><td>0.1</td><td>0.5</td><td>0.9</td><td>0.8</td><td>0.5</td><td>2.8</td></tr><tr><td colspan="7">施工検討</td><td></td><td>0.1</td><td>0.3</td><td>0.5</td><td>0.4</td><td>0.2</td><td>1.5</td></tr><tr><td colspan="7">対策案の概算工事費作成</td><td></td><td>0.1</td><td>0.3</td><td>0.5</td><td>0.4</td><td>0.2</td><td>1.5</td></tr><tr><td colspan="7">補強図・補修図の作成</td><td></td><td>0.1</td><td>0.4</td><td>0.8</td><td>0.7</td><td>0.3</td><td>2.3</td></tr><tr><td colspan="7">報告書作成</td><td></td><td>0.1</td><td>0.4</td><td>0.7</td><td>0.6</td><td>0.3</td><td>2.1</td></tr><tr><td colspan="7">照 査</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.9</td></tr><tr><td colspan="7">小計</td><td>0.4</td><td>1.6</td><td>4.8</td><td>9.2</td><td>8.0</td><td>4.0</td><td>28.0</td></tr></table> 備考 1． 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2． 作業項目の診断条件整理は、レベル 1 地震動及びレベル 2 地震動を含むものとし、レベル 2 地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説 2009 年版方法 2～4 によるものとする。ただし、方法 1 による場合は、別途計上する。 3． 作業項目の耐震診断評価における解析手法は、2 次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。	作 業 項 目		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	設 計 協 議		第5表により積算計上							現 地 調 査		第6表により積算計上							配水池・調整池	既 存 資 料 調 査	既存資料収集・整理							0.2	0.4	0.4	0.2	1.2	診断条件 整理	地盤検討							0.2	0.4	0.3	0.2	1.1	耐震基本方針及び設計地震動設定							0.2	0.4	0.3	0.2	1.1	耐震 診断評価	解析モデル作成								0.1	0.4	0.8	0.7	0.3	2.3	耐震診断								0.2	0.8	1.5	1.4	0.8	4.7	耐震性能の照査								0.1	0.4	0.8	0.7	0.3	2.3	総合評価								0.1	0.2	0.5	0.4	0.2	1.4	対策案 の検討	補強対策検討								0.1	0.3	0.6	0.5	0.2	1.7	劣化対策検討									0.2	0.4	0.4	0.1	1.1	対策後の構造解析								0.1	0.5	0.9	0.8	0.5	2.8	施工検討								0.1	0.3	0.5	0.4	0.2	1.5	対策案の概算工事費作成								0.1	0.3	0.5	0.4	0.2	1.5	補強図・補修図の作成								0.1	0.4	0.8	0.7	0.3	2.3	報告書作成								0.1	0.4	0.7	0.6	0.3	2.1	照 査							0.4	0.5					0.9	小計							0.4	1.6	4.8	9.2	8.0	4.0	28.0
作 業 項 目		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計																																																																																																																																																																																																																																																				
設 計 協 議		第5表により積算計上																																																																																																																																																																																																																																																										
現 地 調 査		第6表により積算計上																																																																																																																																																																																																																																																										
配水池・調整池	既 存 資 料 調 査	既存資料収集・整理							0.2	0.4	0.4	0.2	1.2																																																																																																																																																																																																																																															
	診断条件 整理	地盤検討							0.2	0.4	0.3	0.2	1.1																																																																																																																																																																																																																																															
		耐震基本方針及び設計地震動設定							0.2	0.4	0.3	0.2	1.1																																																																																																																																																																																																																																															
	耐震 診断評価	解析モデル作成								0.1	0.4	0.8	0.7	0.3	2.3																																																																																																																																																																																																																																													
		耐震診断								0.2	0.8	1.5	1.4	0.8	4.7																																																																																																																																																																																																																																													
		耐震性能の照査								0.1	0.4	0.8	0.7	0.3	2.3																																																																																																																																																																																																																																													
		総合評価								0.1	0.2	0.5	0.4	0.2	1.4																																																																																																																																																																																																																																													
	対策案 の検討	補強対策検討								0.1	0.3	0.6	0.5	0.2	1.7																																																																																																																																																																																																																																													
		劣化対策検討									0.2	0.4	0.4	0.1	1.1																																																																																																																																																																																																																																													
		対策後の構造解析								0.1	0.5	0.9	0.8	0.5	2.8																																																																																																																																																																																																																																													
		施工検討								0.1	0.3	0.5	0.4	0.2	1.5																																																																																																																																																																																																																																													
		対策案の概算工事費作成								0.1	0.3	0.5	0.4	0.2	1.5																																																																																																																																																																																																																																													
		補強図・補修図の作成								0.1	0.4	0.8	0.7	0.3	2.3																																																																																																																																																																																																																																													
		報告書作成								0.1	0.4	0.7	0.6	0.3	2.1																																																																																																																																																																																																																																													
	照 査							0.4	0.5					0.9																																																																																																																																																																																																																																														
	小計							0.4	1.6	4.8	9.2	8.0	4.0	28.0																																																																																																																																																																																																																																														

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																																																																
新 規		4-1-2-2 耐震補強工事の実施設計 第4表 RC配水池耐震補強工事の実施設計基本歩掛内訳 基準(対象)容量1,000m3当り (単位:人) <table><tr><th colspan="3">作 業 項 目</th><th>技師長</th><th>主任技師</th><th>技師(A)</th><th>技師(B)</th><th>技師(C)</th><th>技術員</th><th>計</th></tr><tr><td colspan="3">設 計 協 議</td><td colspan="7">第5表により積算計上</td></tr><tr><td colspan="3">現 地 調 査</td><td colspan="7">第6表により積算計上</td></tr><tr><td colspan="3">既存資料調査</td><td colspan="7">第7表により積算計上</td></tr><tr><td rowspan="8">配水池・調整池</td><td>設計計画</td><td></td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.8</td><td></td><td></td><td>3.2</td></tr><tr><td rowspan="2">計算</td><td>構造</td><td></td><td>0.7</td><td>2.2</td><td>4.3</td><td>3.8</td><td>1.9</td><td>12.9</td></tr><tr><td>機能</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td>0.4</td><td>0.3</td><td>0.1</td><td>1.0</td></tr><tr><td>施工計画</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td>0.7</td><td>1.5</td><td>1.3</td><td>0.6</td><td>4.3</td></tr><tr><td>設計図作成</td><td></td><td></td><td>0.6</td><td>2.2</td><td>3.9</td><td>3.4</td><td>1.4</td><td>11.5</td></tr><tr><td>数量計算</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td>0.8</td><td>1.2</td><td>1.1</td><td>0.5</td><td>3.8</td></tr><tr><td>審査</td><td></td><td>0.3</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.7</td></tr><tr><td colspan="2">小計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>37.4</td></tr></table> 備考 1．本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。 2．作業項目の計算(構造)は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する計算を含むもので、レベル2地震動の設定は、水道施設耐震工法指針・解説 2009 年版方法 2～4 によるものとし、方法 1 による場合は、別途計上する。解析手法は、2 次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合は、別途計上する。 3．作業項目の計算（機能）は、補強後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 4．補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。	作 業 項 目			技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	設 計 協 議			第5表により積算計上							現 地 調 査			第6表により積算計上							既存資料調査			第7表により積算計上							配水池・調整池	設計計画		0.4	1.0	1.0	0.8			3.2	計算	構造		0.7	2.2	4.3	3.8	1.9	12.9	機能			0.2	0.4	0.3	0.1	1.0	施工計画			0.2	0.7	1.5	1.3	0.6	4.3	設計図作成			0.6	2.2	3.9	3.4	1.4	11.5	数量計算			0.2	0.8	1.2	1.1	0.5	3.8	審査		0.3	0.4					0.7	小計								37.4
作 業 項 目			技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計																																																																																																									
設 計 協 議			第5表により積算計上																																																																																																															
現 地 調 査			第6表により積算計上																																																																																																															
既存資料調査			第7表により積算計上																																																																																																															
配水池・調整池	設計計画		0.4	1.0	1.0	0.8			3.2																																																																																																									
	計算	構造		0.7	2.2	4.3	3.8	1.9	12.9																																																																																																									
		機能			0.2	0.4	0.3	0.1	1.0																																																																																																									
	施工計画			0.2	0.7	1.5	1.3	0.6	4.3																																																																																																									
	設計図作成			0.6	2.2	3.9	3.4	1.4	11.5																																																																																																									
	数量計算			0.2	0.8	1.2	1.1	0.5	3.8																																																																																																									
	審査		0.3	0.4					0.7																																																																																																									
	小計								37.4																																																																																																									

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																
新 規		4・1・2・3 設計協議(耐震診断及び耐震補強工事の実施設計)基本歩掛 第 5 表 設計協議基本歩掛																																
		(1業務当り、単位:人)																																
		<table><tr><th>作業項目</th><th>技師長</th><th>主任技師</th><th>技師 (A)</th><th>技師 (B)</th><th>技師 (C)</th><th>技術員</th><th>備考</th></tr><tr><td>第 1 回打合せ</td><td></td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中間打合せ</td><td></td><td></td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td></td><td></td><td>1回当り</td></tr><tr><td>最終打合せ</td><td></td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	作業項目	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	備考	第 1 回打合せ		1. 0	1. 0					中間打合せ			1. 0	1. 0			1回当り	最終打合せ		1. 0	1. 0				
		作業項目	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	備考																									
		第 1 回打合せ		1. 0	1. 0																													
		中間打合せ			1. 0	1. 0			1回当り																									
		最終打合せ		1. 0	1. 0																													
		備考 1. 一般的な中間打ち合わせは、適宜必要な打ち合わせ回数を計上する。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木をそれぞれ 1 名としたものである。したがって、この業務において建築、機械、電気に該当する工種を追加する場合は、その工種分を歩掛にそれぞれ 1 名ずつ加算する。																																
		4・1・2・4 現地調査(耐震診断及び耐震補強工事の実施設計)基本歩掛 第 6 表 現地調査基本歩掛.																																
		(1業務当り、単位:人)																																
<table><tr><th>作業項目</th><th>技師長</th><th>主任技師</th><th>技師 (A)</th><th>技師 (B)</th><th>技師 (C)</th><th>技術員</th><th>備考</th></tr><tr><td>現地調査</td><td></td><td></td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td></td><td></td><td>1回当り</td></tr></table>	作業項目	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	備考	現地調査			1. 0	1. 0			1回当り																		
作業項目	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	備考																											
現地調査			1. 0	1. 0			1回当り																											
備考 1. 本表は 1 業務、1 回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木をそれぞれ 1 名としたものである。したがって、この業務において建築、機械、電気に該当する工種を追加する場合は、その工種分を歩掛にそれぞれ 1 名ずつ加算する。																																		
4・1・2・5 既存資料調査(耐震補強工事の実施設計)基本歩掛 第 7 表 既存資料調査基本歩掛																																		
(1業務当り、単位:人)																																		
<table><tr><th>作業項目</th><th>技師長</th><th>主任技師</th><th>技師 (A)</th><th>技師 (B)</th><th>技師 (C)</th><th>技術員</th><th>備考</th></tr><tr><td>既存資料調査</td><td></td><td></td><td>0. 4</td><td>0. 8</td><td>0. 8</td><td>0. 5</td><td>1回当り</td></tr></table>	作業項目	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	備考	既存資料調査			0. 4	0. 8	0. 8	0. 5	1回当り																		
作業項目	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	備考																											
既存資料調査			0. 4	0. 8	0. 8	0. 5	1回当り																											
備考. 本表は 1 業務、1 回当りの歩掛である。																																		

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																																																																																								
新 規		4-1-3 補正																																																																																																																								
		総補正率は、4-1-3-1～4-1-3-2 の各補正率を乗ずるものとする。																																																																																																																								
		4-1-3-1 設計対象容量に係る補正																																																																																																																								
		第 8 表 設計対象容量に係る補正率																																																																																																																								
		<table><tr><th colspan="2">配水池有効容量 (m3)</th><th>補正率</th><th colspan="2">配水池有効容量 (m3)</th><th>補正率</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>RC配水池</th><th colspan="2"></th><th>RC配水池</th></tr><tr><td colspan="2">50</td><td>0.29</td><td>6,001 ～ 7,000</td><td colspan="2">2.27</td></tr><tr><td>51 ～</td><td>100</td><td>0.38</td><td>7,001 ～ 8,000</td><td colspan="2">2.41</td></tr><tr><td>101 ～</td><td>200</td><td>0.51</td><td>8,001 ～ 9,000</td><td colspan="2">2.52</td></tr><tr><td>201 ～</td><td>300</td><td>0.60</td><td>9,001 ～ 10,000</td><td colspan="2">2.65</td></tr><tr><td>301 ～</td><td>400</td><td>0.68</td><td>10,001 ～ 12,000</td><td colspan="2">2.86</td></tr><tr><td>401 ～</td><td>500</td><td>0.75</td><td>12,001 ～ 14,000</td><td colspan="2">3.05</td></tr><tr><td>501 ～</td><td>600</td><td>0.81</td><td>14,001 ～ 16,000</td><td colspan="2">3.22</td></tr><tr><td>601 ～</td><td>700</td><td>0.86</td><td>16,001 ～ 18,000</td><td colspan="2">3.38</td></tr><tr><td>701 ～</td><td>800</td><td>0.90</td><td>18,001 ～ 20,000</td><td colspan="2">3.56</td></tr><tr><td>801 ～</td><td>900</td><td>0.95</td><td>20,001 ～ 22,000</td><td colspan="2">3.70</td></tr><tr><td>901 ～</td><td>1,000</td><td>1.00</td><td>22,001 ～ 24,000</td><td colspan="2">3.84</td></tr><tr><td>1,001 ～</td><td>1,500</td><td>1.19</td><td>24,001 ～ 26,000</td><td colspan="2">3.96</td></tr><tr><td>1,501 ～</td><td>2,000</td><td>1.33</td><td>26,001 ～ 28,000</td><td colspan="2">4.09</td></tr><tr><td>2,001 ～</td><td>2,500</td><td>1.48</td><td>28,001 ～ 30,000</td><td colspan="2">4.22</td></tr><tr><td>2,501 ～</td><td>3,000</td><td>1.59</td><td>30,001 ～ 35,000</td><td colspan="2">4.48</td></tr><tr><td>3,001 ～</td><td>4,000</td><td>1.79</td><td>35,001 ～ 40,000</td><td colspan="2">4.74</td></tr><tr><td>4,001 ～</td><td>5,000</td><td>1.96</td><td>40,001 ～ 45,000</td><td colspan="2">4.98</td></tr><tr><td>5,001 ～</td><td>6,000</td><td>2.13</td><td>45,001 ～ 50,000</td><td colspan="2">5.21</td></tr></table>	配水池有効容量 (m3)		補正率	配水池有効容量 (m3)		補正率			RC配水池			RC配水池	50		0.29	6,001 ～ 7,000	2.27		51 ～	100	0.38	7,001 ～ 8,000	2.41		101 ～	200	0.51	8,001 ～ 9,000	2.52		201 ～	300	0.60	9,001 ～ 10,000	2.65		301 ～	400	0.68	10,001 ～ 12,000	2.86		401 ～	500	0.75	12,001 ～ 14,000	3.05		501 ～	600	0.81	14,001 ～ 16,000	3.22		601 ～	700	0.86	16,001 ～ 18,000	3.38		701 ～	800	0.90	18,001 ～ 20,000	3.56		801 ～	900	0.95	20,001 ～ 22,000	3.70		901 ～	1,000	1.00	22,001 ～ 24,000	3.84		1,001 ～	1,500	1.19	24,001 ～ 26,000	3.96		1,501 ～	2,000	1.33	26,001 ～ 28,000	4.09		2,001 ～	2,500	1.48	28,001 ～ 30,000	4.22		2,501 ～	3,000	1.59	30,001 ～ 35,000	4.48		3,001 ～	4,000	1.79	35,001 ～ 40,000	4.74		4,001 ～	5,000	1.96	40,001 ～ 45,000	4.98		5,001 ～	6,000	2.13	45,001 ～ 50,000	5.21	
		配水池有効容量 (m3)		補正率	配水池有効容量 (m3)		補正率																																																																																																																			
				RC配水池			RC配水池																																																																																																																			
		50		0.29	6,001 ～ 7,000	2.27																																																																																																																				
		51 ～	100	0.38	7,001 ～ 8,000	2.41																																																																																																																				
		101 ～	200	0.51	8,001 ～ 9,000	2.52																																																																																																																				
201 ～	300	0.60	9,001 ～ 10,000	2.65																																																																																																																						
301 ～	400	0.68	10,001 ～ 12,000	2.86																																																																																																																						
401 ～	500	0.75	12,001 ～ 14,000	3.05																																																																																																																						
501 ～	600	0.81	14,001 ～ 16,000	3.22																																																																																																																						
601 ～	700	0.86	16,001 ～ 18,000	3.38																																																																																																																						
701 ～	800	0.90	18,001 ～ 20,000	3.56																																																																																																																						
801 ～	900	0.95	20,001 ～ 22,000	3.70																																																																																																																						
901 ～	1,000	1.00	22,001 ～ 24,000	3.84																																																																																																																						
1,001 ～	1,500	1.19	24,001 ～ 26,000	3.96																																																																																																																						
1,501 ～	2,000	1.33	26,001 ～ 28,000	4.09																																																																																																																						
2,001 ～	2,500	1.48	28,001 ～ 30,000	4.22																																																																																																																						
2,501 ～	3,000	1.59	30,001 ～ 35,000	4.48																																																																																																																						
3,001 ～	4,000	1.79	35,001 ～ 40,000	4.74																																																																																																																						
4,001 ～	5,000	1.96	40,001 ～ 45,000	4.98																																																																																																																						
5,001 ～	6,000	2.13	45,001 ～ 50,000	5.21																																																																																																																						
備考 1．配水池の容量は、耐震診断評価及び計算(構造)を行う構造単位ごとに設定する。																																																																																																																										
2．形状の異なる配水池を複数実施する場合は構造単位ごとに設定する。																																																																																																																										
4-1-3-2 掘削深度に係る補正																																																																																																																										
耐震補強工事に係る掘削深度が大きい場合(5m 以上 10m 未満)は、第 4 表・耐震補強工事の実施設計基本歩掛に 1 5 ／ 1 0 0 増加、さらに極めて深い場合(10m 以上)は、3 0 ／ 1 0 0 増加するものとする。																																																																																																																										

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ

現行（平成 2 2 年度）

改訂（平成 2 3 年度）

改 訂

（ P 2 7 2 ）

（４）機械運転表
第10表

機 械 名	規 格	運転日当り 運 転 時 間	指定事項
小型バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.08m³ [平積0.06m³]		運転労務数量 → 0.24 燃 料 消 費 量 → 3.2 機械損料数量 → 0.24(日)
	クローラ型 排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.13m³ [平積0.10m³]		運転労務数量 → 0.17 燃 料 消 費 量 → 4.4 機械損料数量 → 0.17(日)
バックホウ	クローラ型排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.28m³ [平積0.20m³]		運転労務数量 → 0.17 燃 料 消 費 量 → 7.2 機械損料数量 → 1.0
	クローラ型 排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.45m³ [平積0.35m³]		運転労務数量 → 0.17 燃 料 消 費 量 → 11.0 機械損料数量 → 1.0
	クローラ型 排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.80m³ [平積0.60m³]		運転労務数量 → 0.17 燃 料 消 費 量 → 18.0 機械損料数量 → 1.0
タ ン パ	60～80kg		運転労務数量 → 1.0 燃 料 消 費 量 → 4.5 機械損料数量 → 1.38 主 燃 料 → ガソリン 運 転 時 間 → 5h/日 作 業 量 → 33m³/日

備考 山積0.08m³の運転日当り運転時間は4.2時間とする。その他は建設機械損料表による。

（４）機械運転表
第10表

機 械 名	規 格	運転日当り 運 転 時 間	指定事項
小型バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.08m³ [平積0.06m³]		運転労務数量 → 0.24 燃 料 消 費 量 → 3.2 機械損料数量 → 0.24(日)
	クローラ型 排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.13m³ [平積0.10m³]		運転労務数量 → 0.17 燃 料 消 費 量 → 4.4 機械損料数量 → 0.17(日)
バックホウ	クローラ型排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.28m³ [平積0.20m³]		運転労務数量 → 0.17 燃 料 消 費 量 → 7.2 機械損料数量 → 1.0
	クローラ型 排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.45m³ [平積0.35m³]		運転労務数量 → 0.17 燃 料 消 費 量 → 11.0 機械損料数量 → 1.0
	クローラ型 排出ガス対策型（第 1 次基準値） 山積0.80m³ [平積0.60m³]		運転労務数量 → 0.17 燃 料 消 費 量 → 18.0 機械損料数量 → 1.0
タ ン パ	60～80kg		運転労務数量 → 1.0 燃 料 消 費 量 → 4.5 機械損料数量 → 1.38 主 燃 料 → ガソリン 運 転 時 間 → 5h/日 作 業 量 → 33m³/日

備考 山積0.08m³の運転日当り運転時間は4.2時間とする。その他は建設機械損料表による。

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）
改 訂 (P 2 7 6) <		

平成 2 3 年度用歩掛改訂比較表

現行歩掛ページ	現行（平成 2 2 年度）	改訂（平成 2 3 年度）																																																								
改 訂 (P 2 9 3)	1-4-6 量水器取付け歩掛表 第 5 表 (1 箇所当り) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">労 務 費</th><th rowspan="2"></th></tr><tr><th>特殊作業員</th><th>配 管 工</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>13</td><td rowspan="6">(0.10)</td><td>0.13</td><td>0.07</td><td rowspan="6"></td></tr><tr><td>20</td><td>0.15</td><td>0.08</td></tr><tr><td>25</td><td>0.19</td><td>0.11</td></tr><tr><td>30</td><td>0.24</td><td>0.14</td></tr><tr><td>40</td><td>0.28</td><td>0.17</td></tr><tr><td>50</td><td>0.30</td><td>0.20</td></tr></table> 備考 1. 本表は、メータ据付け、接続（ネジ）、量水器筐取付けを含む。 2. 本表は、フランジ接合は含まない。 3. 遠隔式、電磁流量計、ベンチュリー式タービンメータ、コンパウンド型及び副管付き等特殊メータについては（ ）の特殊作業員を計上する。 4. 遠隔式及び電磁流量計等の指示計、記録計、積算計等の据付調整作業は、別途計上する。 5. 筐のみの取付け歩掛は、配管工は0.02人、普通作業員は本表の普通作業員×50%とする。なお、小数第 3 位を四捨五入する。 6. 量水器のみの取付け歩掛は、本表の歩掛から上記 5 で算出した筐のみの取付け歩掛を差し引いたものとする。 1-4-7 その他 銅管、硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管の布設工については別途歩掛表（P41～55）を参照。		労 務 費				特殊作業員	配 管 工	普通作業員	13	(0.10)	0.13	0.07		20	0.15	0.08	25	0.19	0.11	30	0.24	0.14	40	0.28	0.17	50	0.30	0.20	1-4-6 量水器取付け歩掛表 第 5 表 (1 箇所当り) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">労 務 費</th><th rowspan="2"></th></tr><tr><th>特殊作業員</th><th>配 管 工</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>13</td><td rowspan="6">(0.10)</td><td>0.13</td><td>0.07</td><td rowspan="6"></td></tr><tr><td>20</td><td>0.15</td><td>0.08</td></tr><tr><td>25</td><td>0.19</td><td>0.11</td></tr><tr><td>30</td><td>0.24</td><td>0.14</td></tr><tr><td>40</td><td>0.28</td><td>0.17</td></tr><tr><td>50</td><td>0.30</td><td>0.20</td></tr></table> 備考 1. 本表は、メータ据付け、接続（ネジ）、量水器筐取付けを含む。 2. 本表は、フランジ接合は含まない。 3. 遠隔式、電磁流量計、ベンチュリー式タービンメータ、コンパウンド型及び副管付き等特殊メータについては（ ）の特殊作業員を計上する。 4. 遠隔式及び電磁流量計等の指示計、記録計、積算計等の据付調整作業は、別途計上する。 5. 筐のみの取付け歩掛は、配管工は0.02人、普通作業員は本表の普通作業員×50%とする。なお、小数第 3 位を四捨五入する。 6. 量水器のみの取付け歩掛は、本表の歩掛から上記 5 で算出した筐のみの取付け歩掛を差し引いたものとする。 1-4-7 その他 銅管、硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管の布設工については別途歩掛表（P41～55）を参照。 ページの表記は削除する。		労 務 費				特殊作業員	配 管 工	普通作業員	13	(0.10)	0.13	0.07		20	0.15	0.08	25	0.19	0.11	30	0.24	0.14	40	0.28	0.17	50	0.30	0.20
	労 務 費																																																									
	特殊作業員	配 管 工	普通作業員																																																							
13	(0.10)	0.13	0.07																																																							
20		0.15	0.08																																																							
25		0.19	0.11																																																							
30		0.24	0.14																																																							
40		0.28	0.17																																																							
50		0.30	0.20																																																							
	労 務 費																																																									
	特殊作業員	配 管 工	普通作業員																																																							
13	(0.10)	0.13	0.07																																																							
20		0.15	0.08																																																							
25		0.19	0.11																																																							
30		0.24	0.14																																																							
40		0.28	0.17																																																							
50		0.30	0.20																																																							